(19)日本国特許庁(JP)　(12)公開特許公報(A)　(11)特許出願公開番号
特開2013-111254
(P2013-111254A)
(43)公開日　平成25年6月10日(2013.6.10)

(51)Int.Cl.		F I		テーマコード（参考）
A63F 7/02	(2006.01)	A63F 7/02	304D	2C088

審査請求 未請求　請求項の数 2　OL　（全 38 頁）

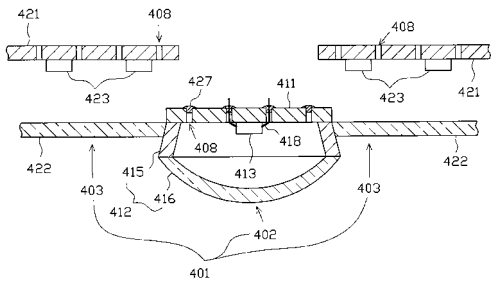
(21)出願番号　特願2011-260017 (P2011-260017)
(22)出願日　平成23年11月29日 (2011.11.29)

(71)出願人　000144522
株式会社三洋物産
愛知県名古屋市千種区今池３丁目９番２１号
(74)代理人　100111095
弁理士　川口　光男
(72)発明者　堤　隼人
愛知県名古屋市千種区今池３丁目９番２１号　株式会社三洋物産内

Fターム(参考)　2C088 BC25　EB78

(54)【発明の名称】遊技機

(57)【要約】　（修正有）
【課題】所定の電飾基板の発光態様を明確に認識することのできる遊技機を提供する。
【解決手段】パチンコ機は、第１発光基板４１１及び第２発光基板４２１を具備する電飾ユニット４０１を備え、第１発光基板４１１及び第２発光基板４２１に搭載された発光手段が発光した場合には、かかる発光態様を前方から視認可能に構成されている。また、第１発光基板４１１は、第２発光基板４２１よりも前方に配置されているとともに、当該第１発光基板４１１において厚み方向に貫通するようにして形成された貫通孔４０８が閉塞されている。
【選択図】図８



【特許請求の範囲】
【請求項１】
所定の領域において、発光手段が搭載され、当該発光手段の光を所定の方向に向けて照射可能に設けられた複数の発光基板を備え、
前記複数の発光基板のうち、第１発光基板は、第２発光基板よりも前記所定の方向における前方に配置されるとともに、当該第１発光基板の厚み方向に貫通するようにして形成された貫通孔が閉塞されていることを特徴とする遊技機。
【請求項２】
所定条件の成立を契機として遊技者にとって有利な特別遊技状態を発生させるか否かの当否抽選が行われる構成において、
前記第１発光基板に搭載された発光手段は、前記当否抽選にて前記特別遊技状態を発生させることが決定された場合に、対応する発光態様に状態変化し得るように構成されていることを特徴とする請求項１に記載の遊技機。
【発明の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本発明は、パチンコ機等の遊技機に関するものである。
【背景技術】
【０００２】
遊技機の一種として、パチンコ遊技機やスロットマシン等が知られている。これらの遊技機では、所定条件の成立を契機として、遊技者にとって有利な特別遊技状態を発生させるか否かの当否抽選が行われるとともに、当該当否抽選の結果を教示するにあたって多様な演出が行われるようになっている（例えば、特許文献１参照）。また、近年では、ＬＥＤ等の発光手段を多数配置して、視認態様を煌びやかにする傾向にある。
【先行技術文献】
【特許文献】
【０００３】
【特許文献１】特開２００３－１５４１１０号公報
【発明の概要】
【発明が解決しようとする課題】
【０００４】
しかしながら、多数の発光手段の設置間隔を詰めると、どの発光手段が発光し、どの発光手段が発光していないのかを区別できなくなってしまうことが懸念される。
【０００５】
本発明は、上記例示した問題点等を解決するためになされたものであり、その目的は、所定の発光基板の発光態様を明確に認識することのできる遊技機を提供することにある。
【課題を解決するための手段】
【０００６】
本発明の遊技機は、
所定の領域において、発光手段が搭載され、当該発光手段の光を所定の方向に向けて照射可能に設けられた複数の発光基板を備え、
前記複数の発光基板のうち、第１発光基板は、第２発光基板よりも前記所定の方向における前方に配置されるとともに、当該第１発光基板の厚み方向に貫通するようにして形成された貫通孔が閉塞されていることを特徴としている。
【発明の効果】
【０００７】
本発明によれば、所定の発光基板の発光態様を明確に認識することができる。
【図面の簡単な説明】
【０００８】
【図１】一実施形態におけるパチンコ機を示す正面図である。

【図２】パチンコ機を示す斜視図である。
【図３】内枠及び前面枠セットを開放した状態を示す斜視図である。
【図４】内枠および遊技盤等の構成を示す正面図である。
【図５】パチンコ機の構成を示す背面図である。
【図６】内枠及び裏パックユニット等を開放した状態を示す斜視図である。
【図７】パチンコ機の主な電気的構成を示すブロック図である。
【図８】第１実施形態における電飾ユニットを模式的に示す断面図である。
【図９】中央電飾基板を模式的に示す断面図である。
【図１０】第２実施形態における電飾ユニットを構成する電飾基板を示す分解斜視図である。
【図１１】第２実施形態における電飾ユニット等を示す正面図である。
【図１２】第２実施形態の電飾ユニットの発光態様例を示すための正面図である。
【図１３】第２実施形態の電飾ユニットの発光態様例を示すための正面図である。
【図１４】第３実施形態における電飾ユニットの正面図である。
【図１５】第３実施形態における電飾ユニットの側面図である。
【図１６】第３実施形態における電飾基板の正面図である。
【図１７】第１実施形態の中央電飾基板の変形例を示す断面図である。
【図１８】第１実施形態の中央電飾基板の変形例を示す断面図である。
【図１９】第３実施形態の電飾基板の変形例を示す正面図である。
【発明を実施するための形態】
【０００９】
（第１実施形態）
以下、パチンコ遊技機（以下、単に「パチンコ機」という）の一実施形態を、図面に基づいて詳細に説明する。図３等に示すように、パチンコ機１０は、当該パチンコ機１０の外郭を構成する外枠１１を備えており、この外枠１１の一側部に内枠１２が開閉可能に支持されている。尚、図３では便宜上、遊技盤３０面上に配設される釘や役物、前面枠セット１４に取付けられるガラスユニット１３７等を省略して示している。
【００１０】
外枠１１は、図６等に示すように、上辺枠構成部１１ａ、下辺枠構成部１１ｂ、左辺枠構成部１１ｃ、及び右辺枠構成部１１ｄにより構成され、これら各枠構成部１１ａ～１１ｄがネジ等の離脱可能な締結具により全体として矩形枠状に組み付けられている。
【００１１】
左辺枠構成部１１ｃの上下端部には、それぞれ上ヒンジ８１及び下ヒンジ８２が取着されている（図２参照）。当該上ヒンジ８１及び下ヒンジ８２にて、内枠１２の上下部が回動可能に支持されており、これにより内枠１２が開閉可能となる。そして、外枠１１の内側に形成される空間部に内枠１２等が収容される。
【００１２】
また、右辺枠構成部１１ｄには、その幅方向後端部近傍から外枠１１内側へ向け突出した延出壁部８３が形成されている。延出壁部８３は、内枠１２の右側部背面側に設けられる施錠装置６００（図６参照）に対応する上下区間全域を内枠１２の背面側から覆っている（図５参照）。加えて、図３に示すように、延出壁部８３の前面側には、施錠装置６００の係止部材が係止される上下一対の受部８４，８５が設けられている。また、下側の受部８５には、後述する内枠開放検知スイッチ９２に当接する押圧部８６が、外枠１１内側に向けて突設されている。
【００１３】
さらに、下辺枠構成部１１ｂには樹脂製の幕板飾り８７が取着されている。幕板飾り８７の上面奥部には、上方に突出するリブ８８が一体形成されている。これにより内枠１２との間に隙間が形成されにくくなっている。
【００１４】
図３に示すように、内枠１２の開閉軸線は、パチンコ機１０の正面からみて左側におい

て上下に沿って設定されており、この開閉軸線を軸心として内枠１２が前方側に開放できるようになっている。内枠１２は、外形が矩形状をなす樹脂ベース３８を主体に構成されており、当該樹脂ベース３８の中央部には略楕円形状の窓孔３９が形成されている。

【００１５】

また、内枠１２の前面側には前面枠セット１４が開閉可能に取付けられている。前面枠セット１４は、内枠１２と同様に、パチンコ機１０の正面から見て左側において上下に沿って設定された開閉軸線を軸心として前方側に開放できるようになっている。

【００１６】

前面枠セット１４は、内枠１２と同様に外形が矩形状をなし、閉鎖状態においては内枠１２の前面側ほぼ全域を覆う。前面枠セット１４の中央部には略楕円形状の窓部１０１が形成されている。これにより、前面枠セット１４の窓部１０１及び内枠１２の窓孔３９を介して、内枠１２の後面に装着される遊技盤３０（遊技領域）を外部から視認可能となる。遊技盤３０の詳細な構成については後述する。

【００１７】

図１に示すように、前面枠セット１４の前面側には、その下部中央において球受皿としての下皿１５が設けられており、排出口１６より排出された遊技球が下皿１５内に貯留可能になっている。また、下皿１５の手前側には、下皿１５内から遊技球を排出するための球抜きレバー２５が設けられている。加えて、下皿１５の左部には、ＬＥＤが内蔵された演出ボタン１２５が設けられており、演出ボタン１２５を押圧操作することで、後述する装飾図柄表示装置４２等において対応する演出が行われたり、演出内容が変更されたりする。

【００１８】

下皿１５の右方には、手前側に突出した遊技球発射ハンドル（以下、単にハンドルという）１８が設けられている。尚、ハンドル１８には、図示しないタッチセンサや、ハンドル１８の操作部の操作量を検出するための図示しない操作量検出手段（可変抵抗器）が設けられている。そして、ハンドル１８が右回りに回動操作されると、回動操作量に応じた強さで、後述する発射手段としての発射装置６０によって遊技球が発射される。また、ハンドル１８には、ハンドル１８を握った右手の親指で押圧操作可能な発射禁止ボタン１８ａが設けられている。当該発射禁止ボタン１８ａを押圧した状態においては、ハンドル１８を握っていたとしても、発射装置６０による遊技球の発射が禁止される。このため、遊技球の発射を禁止しつつハンドル１８の回動操作を行ったり、ハンドル１８を握った状態で、一時的に遊技球の発射を止めたりすることができる。

【００１９】

下皿１５の上方には上皿１９が設けられている。上皿１９は、遊技球を一旦貯留し、一列に整列させながら後述する発射装置６０の方へ案内する球受皿である。尚、上皿１９が遊技球で満杯になった状態では、払出される遊技球は、後述する下皿連通路７１及び排出口１６を介して、下皿１５へと案内される。

【００２０】

上皿１９には球貸しボタン１２１と返却ボタン１２２とが設けられている。これにより、遊技ホール等において、パチンコ機１０の側方に配置されるカードユニット（球貸しユニット）に紙幣やカード等を投入した状態で球貸しボタン１２１が操作されると、その操作に応じて貸出球が上皿１９に供給される。一方、返却ボタン１２２は、カードユニットに挿入されたカード等の返却を求める際に操作される。但し、カードユニットを介さずに球貸し装置等から上皿１９に遊技球が直接貸し出されるパチンコ機、いわゆる現金機では球貸しボタン１２１及び返却ボタン１２２は不要である。

【００２１】

さらに、上皿１９には、球抜きボタン１２３が設けられている。球抜きボタン１２３が押圧操作されることで、上皿１９の球案内路の下流側に設けられ、下皿１５に連通する連通孔（図示略）が開口し、上皿１９に貯留されていた遊技球が下皿１５へと案内される（落下する）。つまり、遊技者は、球抜きボタン１２３を操作することで、上皿１９にある

遊技球をいつでも下皿１５に移すことができる。
【００２２】
　また、前面枠セット１４の前面にはその周囲に各種ランプ等の発光手段が設けられている。これら発光手段は、大当たり時や所定のリーチ時等における遊技状態の変化に応じて点灯、点滅といった発光態様が変更制御され遊技中の演出効果を高める役割を果たすものである。例えば、窓部１０１の周縁には、ＬＥＤ等の発光手段を内蔵した環状電飾部１０２が設けられている。また、該環状電飾部１０２の両側部には、所定のエラー時に点灯するエラー表示ランプ１０４が設けられている。尚、環状電飾部１０２のうち各エラー表示ランプ１０４の上方部位には、前面枠セット１４の背面に設けられるスピーカＳＰ（図３参照）に対応して細かな透孔が多数形成されている。
【００２３】
　前面枠セット１４の背面側にはガラスユニット１３７が取付けられている。ガラスユニット１３７は、従来の前後一対の矩形状の板ガラスが前後対をなして別々に取着されるものではなく、全体として丸形をなし、アッセンブリ化された上で取付けられている。
【００２４】
　次に、内枠１２（樹脂ベース３８）について図４を参照して説明する。上述した通り、内枠１２（樹脂ベース３８）には、窓孔３９の後側において遊技盤３０が装着されている。遊技盤３０は、その周縁部が内枠１２（樹脂ベース３８）の裏側に当接した状態で取着されている。従って、遊技盤３０の前面部の略中央部分が樹脂ベース３８の窓孔３９を通じて内枠１２の前面側に露出した状態となっている。
【００２５】
　また、内枠１２（樹脂ベース３８）の前面下部、すなわち窓孔３９（遊技盤３０）の下方位置には、発射装置６０及び当該発射装置６０より発射された直後の遊技球を案内する発射レール６１が取付けられている。本実施形態では、発射装置６０としてソレノイド式発射装置を採用している。また、発射装置６０の上方には、上皿１９から案内される遊技球を、内蔵された駆動手段（例えばソレノイド）の駆動により、１球ずつ発射装置６０の発射位置へと案内する球送り装置６３が設けられている。
【００２６】
　次に、遊技盤３０の構成について図４を参照して説明する。遊技盤３０には、一般入賞口３１、可変入賞装置３２、始動入賞ユニット（始動口）３３、スルーゲート３４、可変表示装置ユニット３５、第１特別表示装置４３Ｌ及び第２特別表示装置４３Ｒ、変動特定ランプ４０、普通図柄表示装置４１、保留ランプ４４等がルータ加工によって形成された貫通孔に配設され、遊技盤３０前面側から木ネジ等により取付けられている。周知の通り一般入賞口３１、可変入賞装置３２、始動入賞ユニット３３などの各種入賞口に遊技球が入球（入賞）すると、各種検出スイッチにより検出され、上皿１９（又は下皿１５）へ所定数の賞球が払い出される。例えば、始動入賞ユニット３３への入球があった場合には３個、一般入賞口３１への入球があった場合には１０個、可変入賞装置３２への入球があった場合には１５個の遊技球が上皿１９（下皿１５）に払出される。その他に、遊技盤３０にはアウト口３６が設けられており、一般入賞口３１等の各種入賞口に入賞しなかった遊技球は、このアウト口３６を通って遊技領域外へと排出される。また、遊技盤３０には、遊技球の落下方向を適宜分散、調整等するために多数の釘が植設されているとともに、風車等の各種部材（役物）が配設されている。
【００２７】
　可変入賞装置３２は、通常は遊技球が入賞できない閉状態になっており、大当たり状態（特別遊技状態の発生）の際に、遊技球が入賞可能な開状態とされる。尚、図示は省略するが、可変入賞装置３２は、遊技盤３０の後方へと通じる大入賞口（入賞口）と、大入賞口を開閉するシャッタ（可動部）と、シャッタを動作させるための大入賞口ソレノイド（駆動手段）と、大入賞口に入球した遊技球を検出するカウントスイッチ２２３とを備え、大入賞口ソレノイドを駆動制御し、シャッタを開閉させることで、可変入賞装置３２（大入賞口）を閉状態と開状態とに切替えている。

【００２８】
始動入賞ユニット３３は、上入賞口３３ａ及び下入賞口３３ｂと、下入賞口３３ｂの両側部に設けられた開閉する一対の開閉部材３３ｃとを備えている。開閉部材３３ｃが所定条件の成立に応じて開閉動作することにより、下入賞口３３ｂの側方を流下する遊技球が下入賞口３３ｂへと案内される開状態と、案内されない閉状態との間で状態変化可能に構成されている。尚、詳しくは後述するが、始動入賞ユニット３３は、上入賞口３３ａ、下入賞口３３ｂに入球した遊技球をそれぞれ検知する第１始動入賞スイッチ２２４ａ、第２始動入賞スイッチ２２４ｂを備えており、当該始動入賞スイッチ２２４ａ、２２４ｂにて遊技球が検知された場合に、大当たり状態を発生させるか否かを決める当否抽選が行われるとともに、特別表示装置４３Ｌ、４３Ｒ（及び後述する装飾図柄表示装置４２）にて、当該当否抽選の結果を教示するための変動表示が行われる構成となっている。そして、当否抽選にて大当たりに当選した場合には、可変入賞装置３２が開放される特別遊技状態としての大当たり状態が付与されることとなる。

【００２９】
また、本実施形態では、当否抽選にて所定の確率で大当たりに当選する低確率状態と、当否抽選にて低確率状態よりも高確率で大当たりに当選する高確率状態とがある。さらに、開閉部材３３ｃが比較的頻繁に開放され、遊技球を下入賞口３３ｃへ入球させ易くなる高入球状態と、開閉部材３３ｃがほとんど開状態とされず、遊技球を下入賞口３３ｂへ入球させ難い低入球状態とがある。以下、低確率状態かつ低入球状態である状態を「通常モード」と称し、低確率状態かつ高入球状態である状態を「時間短縮モード」と称し、高確率状態かつ高入球状態である状態を「確変モード」と称する。

【００３０】
本実施形態の大当たり種別は、１５ラウンド通常ボーナス（以下「１５ＲＮ」と言う）と、１５ラウンドスーパーボーナス（以下「１５ＲＳ」と言う）と、７ラウンドスーパーボーナス（以下「７ＲＳ」と言う）との３種類である。そして、可変入賞装置３２が３０秒間開放されること、又は、可変入賞装置３２が開放されてから可変入賞装置３２に８個の遊技球が入球することを１ラウンドとして、「１５ＲＮ」、「１５ＲＳ」に関しては、それが１５回繰り返され、一方、「７ＲＳ」に関しては、それが７回繰り返されてから、大当たり状態が終了する。また、「１５ＲＳ」、「７ＲＳ」の大当たり状態終了後には「確変モード」が付与され、「１５ＲＮ」の大当たり状態終了後には「時間短縮モード」が付与される。

【００３１】
尚、本実施形態では、上入賞口３３ａへの遊技球の入球に基づいて大当たりに当選した場合と、下入賞口３３ｂへの遊技球の入球に基づいて大当たりに当選した場合とで、「１５ＲＮ」となる割合は同じであるが、「１５ＲＳ」となる割合（換言すれば「７ＲＮ」となる割合）が異なっている。

【００３２】
第１及び第２特別表示装置４３Ｌ、４３Ｒは、それぞれ２文字（及びドット）を表示可能なタイプの７セグメント表示装置により構成され、可変入賞装置３２の右方に設置されている。そして、始動入賞ユニット３３の上入賞口３３ａへの遊技球の入球を契機として第１特別表示装置４３Ｌにて切替表示（変動表示）が行われ、下入賞口３３ｂへの遊技球の入球を契機として第２特別表示装置４３Ｒにて切替表示（変動表示）が行われる構成となっている。尚、特別表示装置４３Ｌ、４３Ｒは、後述する主制御手段としての主制御装置２６１によって表示内容が直接的に制御される。

【００３３】
また、第１及び第２特別表示装置４３Ｌ、４３Ｒにて変動表示が行われた後、当該変動表示が停止したときの表示態様により、当否抽選の結果、すなわち、「大当たり」又は「外れ」であることが確定的に表示される。例えば、上入賞口３３ａに遊技球が入賞すると、対応する第１特別表示装置４３Ｌにて点灯態様（点灯するセグメントの組合わせ）が高速で（例えば４ｍｓｅｃ毎に）切替表示（変動表示）され、所定時間が経過すると、いず

れかの点灯態様を停止表示（例えば数秒間停止）する。そして、当否抽選にて「大当たり」に当選した場合には、対応する点灯態様が変動停止時に表示され、大当たり状態が発生する。

【００３４】

さらに、特別表示装置４３Ｌ、４３Ｒにおいては、「大当たり」に当選したことが教示されるだけでなく、大当たり状態の種別、すなわち、「１５ＲＮ」、「１５ＲＳ」、「７ＲＳ」のいずれであるかについても教示される。例えば、第１特別表示装置４３Ｌ（又は第２特別表示装置４３Ｒ）において最終的に「７．７．」が表示された（停止表示された）場合には「１５ＲＳ」が付与され、「ｎ．０．」が表示された場合には「１５ＲＮ」が付与されるといった具合に対応付けられている。また、１つの大当たり種別を教示する特別表示装置４３Ｌ、４３Ｒの停止態様は１つではなく複数存在し、例えば、「１５ＲＳ」が発生する場合、第１特別表示装置４３Ｌ（又は第２特別表示装置４３Ｒ）において、「７．７．」、「Ｐ．ｂ」、「５．Ｌ．」、「Ａ．３」・・・のいずれかが選択されて停止表示される。また、第１特別表示装置４３Ｌ、第２特別表示装置４３Ｒのどちらか一方において、変動表示又は決定表示が行われている場合には、他方が消灯状態とされており（「－」を表示しておいてもよい）、どちらにおいても変動表示及び決定表示が行われていない場合には、両方においてそれぞれ「－」が表示される。

【００３５】

また、第１又は第２特別表示装置４３Ｌ、４３Ｒの変動表示中に新たに遊技球が始動入賞ユニット３３に入賞した場合には、その分の変動表示は、その時点で行われている変動表示の終了後に行われる構成となっている。つまり、変動表示が待機（保留）されることとなる。この保留される変動表示の最大回数は、パチンコ機の機種毎に決められているが、本実施形態では、上入賞口３３ａに入賞した遊技球、及び下入賞口３３ｂに入賞した遊技球に対応して、それぞれ４回までの変動表示（合計８回の変動表示）が保留される。

【００３６】

また、その保留回数は、可変表示装置ユニット３５に設けられた保留ランプ４６にて点灯表示されるようになっている。当該保留ランプ４６は、後述するサブ制御手段としてのサブ制御装置２６２によって表示内容が制御される。尚、大当たり状態中に新たに遊技球が始動入賞ユニット３３に入賞した場合、その分の変動表示についても保留される。また、上入賞口３３ａへの遊技球の入球に基づく変動表示（以下、「第１変動表示」と言う）と、下入賞口３３ｂへの遊技球の入球に基づく変動表示（以下、「第２変動表示」と言う）との両方が保留されている場合、第２変動表示が第１変動表示よりも優先的に（先に）消化されるようになっている。

【００３７】

保留ランプ４６は、第１変動表示及び第２変動表示の最大保留数の合計と同じく８個設けられており、保留されている変動表示の数と同じ数だけ（向かって左側のものから順次）点灯する。

【００３８】

変動特定ランプ４０は、特別表示装置４３Ｌ、４３Ｒの下方に設けられており、装飾図柄表示装置４２にて行われている変動表示が上入賞口３３ａ及び下入賞口３３ｂのうちどちらの入球に対応するものであるかを示す。さらに、変動特定ランプ４０は、発光色が青色のＬＥＤ及び発光色が赤色のＬＥＤを備えており、装飾図柄表示装置４２において、上入賞口３３ａへの入球を契機とする第１変動表示が行われている場合には青色に発光し、下入賞口３３ｂへの入球を契機とする第２変動表示が行われている場合には赤色に発光する。

【００３９】

スルーゲート３４は、遊技領域を流下する遊技球が１球ずつ通過可能に構成されている。詳しくは後述するが、スルーゲート３４は、当該スルーゲート３４を通過する遊技球を検知可能なスルーゲートスイッチ２２５を備えており、当該スルーゲートスイッチ２２５にて遊技球が検知された場合に、始動入賞ユニット３３を開状態とするか否かの入球アシ

スト抽選が行われる。そして、入球アシスト抽選にて当選した場合には、始動入賞ユニット３３の下入賞口３３ｂ（開閉部材３３ｃ）が規定時間だけ開状態とされる。

【００４０】

普通図柄表示装置４１では、入球アシスト抽選の結果を教示するための変動表示が行われるようになっている。より具体的には、普通図柄表示装置４１は、普通図柄としての「○」及び「×」を点灯表示可能に構成されており、遊技球がスルーゲート３４を通過する毎に例えば普通図柄を「○」→「×」→「○」→・・・という具合に高速で切換表示（変動表示）する。そして、その変動表示が「○」図柄（当選図柄）で数秒間停止した場合には、始動入賞ユニット３３（開閉部材３３ｃ）が所定時間だけ開状態となる。この普通図柄表示装置４１は、後述する主制御装置２６１によって直接的に表示内容が制御される。

【００４１】

また、普通図柄表示装置４１の変動表示中に、新たに遊技球がスルーゲート３４を通過した場合には、その分の変動表示は、その時点で行われている変動表示の終了後に行われる構成となっている。つまり、変動表示が待機（保留）されることとなる。この保留される変動表示の最大回数は、パチンコ機の機種毎に決められているが、本実施形態では４回まで保留され、その保留回数が保留ランプ４４にて点灯表示されるようになっている。

【００４２】

加えて、可変表示装置ユニット３５には、第１及び第２特別表示装置４３Ｌ、４３Ｒによる変動表示に合わせて変動表示する装飾図柄表示装置４２が設けられている。装飾図柄表示装置４２は液晶表示装置として構成されており、後述するサブ制御装置２６２及び表示制御装置４５によって表示内容が制御される。すなわち、装飾図柄表示装置４２においては、第１及び第２特別表示装置４３Ｌ、４３Ｒにて表示される結果に対応させるように、主制御装置２６１からのコマンドに基づき、サブ制御装置２６２によって補助的な表示内容が決定され、当該決定に基づき、表示制御装置４５によって表示制御が行われる。

【００４３】

装飾図柄表示装置４２には、例えば、上、中及び下の３つの図柄表示領域が設けられ、各図柄表示領域において複数種類の図柄（例えば１～９の数字が付された図柄）が順次表示され（変動表示され）、その後、図柄表示領域毎に順番に（例えば、上図柄表示領域→下図柄表示領域→中図柄表示領域の順に）図柄が停止表示されるようになっている。例えば、主制御装置２６１にて大当たりが確定すると、第１又は第２特別表示装置４３Ｌ、４３Ｒにて大当たりに対応する表示がなされるとともに、装飾図柄表示装置４２にて図柄が大当たりに対応する組合わせで停止表示され（例えば、上図柄表示領域、中図柄表示領域、及び下図柄表示領域にて停止表示される図柄が同一となり）、大当たり状態が開始される。

【００４４】

また、図柄が大当たりに対応する組合わせで停止表示される場合には、その前段階として、例えば、上図柄表示領域及び下図柄表示領域において同一の図柄が停止表示されることとなる。このように上図柄表示領域及び下図柄表示領域にて同一図柄が停止表示されるとともに、中図柄表示領域において未だ変動表示が行われている状態がリーチ状態である。

【００４５】

本実施形態では、リーチ状態が発生した後、中図柄表示領域において、上図柄表示領域及び下図柄表示領域において停止表示された図柄（リーチ図柄）と同じ図柄が停止表示された場合（ゾロ目が停止表示された場合）に、大当たり状態が付与される。また、奇数のゾロ目の場合には、大当たり状態終了後において確変モードが付与される「１５ＲＳ」又は「７ＲＳ」が付与され、偶数のゾロ目の場合には、「１５ＲＮ」、「１５ＲＳ」、又は「７ＲＳ」のいずれかが付与される。また、ゾロ目以外の図柄の組合わせは基本的に「外れ」を教示するものである。

【００４６】

また、可変表示装置ユニット３５には、装飾図柄表示装置４２を囲むようにしてセンタ

ーフレーム４７が配設されている。センターフレーム４７の上部には入球口１５１が設けられており、該入球口１５１に入球した遊技球は、センターフレーム４７の内部に形成され、装飾図柄表示装置４２の側部に沿って上下に延びるワープ流路１５２を介して、装飾図柄表示装置４２の下方に形成されたステージ１５３上に案内される。ステージ１５３上に案内された遊技球は、ステージ１５３上から前方の遊技領域に転落したり、ステージ１５３上を転動した後ステージ１５３の中央奥側に形成されたポケット１５４に入球したりする。尚、ポケット１５４は、始動入賞ユニット３３（上入賞口３３ａ）の直上方の遊技領域へと通じる案内通路１５５と連通しており、該ポケット１５４に入球した遊技球は、比較的高い確率で始動入賞ユニット３３（上入賞口３３ａ）に入球するようになっている。

【００４７】

また、遊技盤３０には、内レール構成部５１と外レール構成部５２とからなり、発射装置６０から発射された遊技球を遊技盤３０上部へ案内するレール５０が取付けられている。これにより、ハンドル１８の回動操作に伴い発射された遊技球は発射レール６１及びレール５０を通じて、遊技盤３０とガラスユニット１３７との間に形成される遊技領域内に案内される。

【００４８】

内レール構成部５１の先端部分（図４の左上部）には戻り球防止部材５３が取着されている。これにより、一旦、レール５０から遊技領域へと案内された遊技球が再度レール５０内に戻ってしまうといった事態が防止される。また、外レール構成部５２の略先端部（図４の右上部）には、返しゴム５４が取着されている。所定以上の勢いで発射された遊技球は、返しゴム５４に当たって例えば遊技盤３０の略中央部側へ戻されることとなる。

【００４９】

また、本実施形態では、外レール構成部５２が遊技盤３０の右上部で途絶え、内レール構成部５１が遊技盤３０の右下部で途絶えている。このため、遊技領域は、レール５０及び樹脂ベース３８の窓孔３９の内周面により画定される。但し、発射装置６０にて打出された遊技球が、戻り球防止部材５３を通過するまでは、レール５０を逆流する場合があるため、内外レール構成部５１，５２の並行部分は遊技領域から除かれる。

【００５０】

図３に示すように、前面枠セット１４の背面側には、窓部１０１の下方において、球通路ユニット７０が設けられている。球通路ユニット７０は、後述する払出機構部３５２から下皿１５の排出口１６へ繋がる下皿連通路７１と、払出機構部３５２から上皿１９へ繋がる上皿連通路７３と備えている。また、内枠１２の前面側に設けられた発射レール６１とレールユニット５０（外レール構成部５２）との間には所定間隔の隙間があり、前面枠セット１４の球通路ユニット７０には、前記隙間より落下した遊技球を下皿１５へと案内するファール球通路７２が形成されている。これにより、仮に、発射装置６０から発射された遊技球が戻り球防止部材５３まで至らずファール球としてレール５０を逆戻りする場合には、そのファール球がファール球通路７２を介して下皿１５に排出される。

【００５１】

また、図３及び図４中の符号６７は後述する払出機構部３５２により払出された遊技球を内枠１２の前方に案内するための払出通路であり、上皿連通路７３（上皿１９）に通じる通路と、下皿連通路７１（下皿１５）に通じる通路とに分かれている。払出通路６７の下方にはシャッタ６８が設けられており、前面枠セット１４を開放した状態では、バネ等の付勢力によりシャッタ６８が前方に突出して払出通路６７の出口をほぼ閉鎖するようになっている。また、前面枠セット１４を閉じた状態では、下皿連通路７１の入口側後端部によってシャッタ６８が押し開けられるようになっている。尚、下皿連通路７１及び上皿連通路７３の入口（球流入部）が隣接するとともに、前面枠セット１４の閉状態において当該各入口と払出通路６７とが所定距離だけ離間しており、両者間の隙間を遊技球が通過可能となっている。このため、上皿１９及び上皿連通路７３が遊技球で満杯となると、払出される遊技球が下皿連通路７１側に流れ（下皿連通路７１の入口側に溢れ）、下皿連通

路７１を通って下皿１５に払出されることとなる。
【００５２】
加えて、球通路ユニット７０には、下皿連通路７１内に位置する遊技球を検知する満杯検知スイッチ（図示略）が設けられている。当該満杯検知スイッチの存在により、下皿１５が遊技球で満杯になっていること（下皿１５が遊技球で満杯となり、下皿連通路７１において遊技球が滞留していること）を把握することができる。本実施形態では、満杯検知スイッチによって所定時間継続して遊技球が検知されることに基づき、装飾図柄表示装置４２における表示や音声等を用いて下皿１５が満杯であることを教示するエラー報知の制御が行われる。尚、下皿連通路７１における遊技球の滞留が解消され、満杯検知スイッチにより遊技球が検知されなくなると（所定時間継続して検知されなくなると）エラー報知の状態が解除される。
【００５３】
次に、パチンコ機１０の背面構成について図５、図６等を参照して説明する。パチンコ機１０の背面には、各種制御基板が上下左右に並べられるようにして、一部前後に重ねられるようにして配置されており、さらに、遊技球を供給する遊技球供給装置（払出機構）や樹脂製の保護カバー等が取り付けられている。払出機構及び保護カバーは１ユニットとして一体化されており、一般に樹脂部分を裏パックと称することもあるため、ここではそのユニットを「裏パックユニット２０３」と称する。
【００５４】
まず、遊技盤３０の背面構成について説明する。図６に示すように、遊技盤３０中央の貫通孔に対応して配設された可変表示装置ユニット３５（図４参照）の背面側には、センターフレーム４７を背後から覆う樹脂製のフレームカバー２１３が後方に突出して設けられている。また、フレームカバー２１３の背面側には、フレームカバー２１３の開口部から前方に臨む液晶表示装置たる装飾図柄表示装置４２、表示制御装置４５及びサブ制御装置２６２が前後に重ねられた状態で着脱可能に取り付けられている。
【００５５】
装飾図柄表示装置４２は、当該装飾図柄表示装置４２の表示部（液晶画面）をパチンコ機１０の前面側に露出させるための開口部が形成された収容ボックス４２ａに収容されてフレームカバー２１３の背面側に固定されている。表示制御装置４５は基板ボックス４５ａに収容されて装飾図柄表示装置４２（収容ボックス４２ａ）の背面側に固定されている。サブ制御装置２６２は基板ボックス２６２ａに収容されて表示制御装置４５（基板ボックス４５ａ）の背面側に固定されている。尚、フレームカバー２１３内には、センターフレーム４７に内蔵されたＬＥＤ等を駆動するＬＥＤ制御基板等が配設されている。また、収容ボックス４２ａ及び基板ボックス４５ａ，２６２ａは透明樹脂材料等により構成され、内部が視認可能となっている。
【００５６】
フレームカバー２１３の下方には裏枠セット２１５が、一般入賞口３１、可変入賞装置３２及び始動入賞ユニット３３等を背後から覆うようにして遊技盤３０に取付けられている。裏枠セット２１５は、各種入賞口に入賞した遊技球を回収するための球回収機構を備えている（図示略）。この球回収機構により回収された遊技球は、後述する排出通路部２１７に案内され、排出通路部２１７の排出シュートからパチンコ機１０外部に排出される。
【００５７】
また、本実施形態では、裏枠セット２１５が主制御装置２６１の取付台として機能する。より詳しくは、主制御装置２６１を搭載した基板ボックス２６３が、裏枠セット２１５に対し回動可能に軸支され、後方に開放可能となっている。
【００５８】
主制御装置２６１は透明樹脂材料等よりなる基板ボックス２６３に収容されている。基板ボックス２６３は、ボックスベースと該ボックスベースの開口部を覆うボックスカバーとを備え、これらボックスベースとボックスカバーとが封印部材によって連結されている

。封印部材によって連結された基板ボックス２６３は、所定の痕跡を残さなければ開封できない構成となっている。これにより、基板ボックス２６３が不正に開封された旨を容易に発見することができる。

【００５９】

また、遊技盤３０には、一般入賞口３１等の各種入賞口に対応して、当該各種入賞口へ入球した遊技球を検出する入球検出スイッチが設けられている。具体的には、図４に示すように、一般入賞口３１に対応する位置には入賞口スイッチ２２１が設けられ、可変入賞装置３２にはカウントスイッチ２２３が設けられている。また、始動入賞ユニット３３には、上入賞口３３ａ及び下入賞口３３ｂそれぞれに対応して第１始動入賞スイッチ２２４ａ、第２始動入賞スイッチ２２４ｂが設けられている。さらに、スルーゲート３４に対応する位置にはスルーゲートスイッチ２２５が設けられている。

【００６０】

また、図示は省略するが、裏枠セット２１５には、入賞口スイッチ２２１、カウントスイッチ２２３及びスルーゲートスイッチ２２５とケーブルコネクタを介して電気的に接続される第１盤面中継基板が設けられている。この第１盤面中継基板は、入賞口スイッチ２２１等と、主制御手段としての主制御装置２６１とを中継するものであり、ケーブルコネクタを介して主制御装置２６１と電気的に接続されている。これに対し、始動入賞スイッチ２２４ａ，２２４ｂは中継基板を経ることなくコネクタケーブルを介して直接主制御装置２６１に接続されている。

【００６１】

各種入球検出スイッチにて各々検出された検出結果は、主制御装置２６１に取り込まれる。そして、該主制御装置２６１よりその都度の入賞状況に応じた払出指令（遊技球の払出個数）が払出制御装置３１１に送信され、該払出制御装置３１１からの出力信号に基づき所定数の遊技球の払出しが実施される（スルーゲートスイッチ２２５により検出された場合を除く。）

この他、遊技盤３０の裏面には、図示は省略するが、可変入賞装置３２にて大入賞口を開放する大入賞口用ソレノイドが設けられ、始動入賞ユニット３３にて一対の開閉部材３３ｃを開閉駆動する入賞口用ソレノイドが設けられている。また、裏枠セット２１５には、これらソレノイドと主制御装置２６１とを中継する第２盤面中継基板（図示略）も設けられている。

【００６２】

次に、裏パックユニット２０３の構成を説明する。図５に示すように、裏パックユニット２０３は、樹脂成形された裏パック３５１と、遊技球の払出機構部３５２とを一体化したものである。また、裏パックユニット２０３は、内枠１２の左側部（図５では右側）に対して開閉可能に支持されており、上下方向に沿って延びる開閉軸線を軸心として後方に開放できるようになっている。加えて、裏パックユニット２０３の左上部（図５では右上部）には外部端子板２４０が設けられている。

【００６３】

外部端子板２４０は、遊技ホールのホールコンピュータなどへの各種情報送信を中継するためのものであり、複数の外部接続端子が設けられている。便宜上、符号は付さないが、例えば現在の遊技状態（大当たり状態や確変モード等）に関する情報を出力するための端子、後述する開放検知スイッチ９１，９２によって検出される前面枠セット１４や内枠１２の開放に関する情報を出力するための端子、入球エラー、下皿満タンエラー、タンク球無しエラー、払出しエラーなど各種エラー状態に関する情報を出力するための端子、払出制御装置３１１から払出される賞球数に関する情報を出力するための端子などが設けられている。

【００６４】

裏パック３５１は例えばＡＢＳ樹脂により一体成形されており、パチンコ機１０の後方に突出して略直方体形状をなす保護カバー部３５４を備えている。保護カバー部３５４は左右側面及び上面が閉塞され且つ下面のみが開放された形状をなし、少なくともフレーム

カバー２１３を覆うのに十分な大きさを有する。但し、本実施形態では、保護カバー部３５４が基板ボックス２６３の上部及び右部（図５では左側の部位）も合わせて覆う構成となっている。これにより、裏パックユニット２０３の閉鎖状態において、基板ボックス２６３の右部に設けられた封印部材、及び主制御装置２６１の上縁部に沿って設けられた端子部（基板側コネクタ）が覆われることとなる。

【００６５】

払出機構部３５２は、保護カバー部３５４を迂回するようにして配設されている。すなわち、保護カバー部３５４の上方には、上側に開口したタンク３５５が設けられており、このタンク３５５には遊技ホールの島設備から供給される遊技球が逐次補給される。タンク３５５の下方には、例えば横方向２列の球通路を有し下流側に向けて緩やかに傾斜するタンクレール３５６が連結され、さらにタンクレール３５６の下流側には縦向きにケースレール３５７が連結されている。払出装置３５８はケースレール３５７の最下流部に設けられ、払出モータ等の所定の電気的構成により必要個数の遊技球の払出が適宜行われる。そして、払出装置３５８より払出された遊技球は上皿１９等に供給される。

【００６６】

また、払出機構部３５２には、払出制御装置３１１から払出装置３５８への払出指令の信号を中継する払出中継基板３８１が設置されると共に、外部より主電源を取り込む電源スイッチ基板３８２が設置されている。電源スイッチ基板３８２には、電圧変換器を介して例えば交流２４Ｖの主電源が供給され、電源スイッチ３８２ａの切替操作により電源ＯＮ又は電源ＯＦＦされる。

【００６７】

裏パックユニット２０３（基板ボックス２６３）の下方には、内枠１２の左側部（図５では右側）にて軸支され、後方に開放可能な下枠セット２５１が設けられている。図６に示すように、下枠セット２５１には、上述した球回収機構により回収された遊技球が流入する排出通路部２１７が形成され、排出通路部２１７の最下流部には、遊技球をパチンコ機１０外部へ排出する排出シュート（図示略）が形成されている。つまり、一般入賞口３１等の各入賞口に入賞した遊技球は、裏枠セット２１５の球回収機構を介して集合し、さらに排出通路部２１７の排出シュートを通じてパチンコ機１０外部に排出される。なお、アウト口３６も同様に排出通路部２１７に通じており、何れの入賞口にも入賞しなかった遊技球も排出シュートを介してパチンコ機１０外部に排出される。尚、本実施形態では、裏パックユニット２０３と下枠セット２５１とが別体として構成され、それぞれ独立して開閉可能であるが、裏パックユニット２０３と下枠セット２５１とが一体的に形成されることとしてもよい。

【００６８】

また、図５に示すように、下枠セット２５１の背面側には、払出制御装置３１１、発射制御装置３１２、電源装置３１３及びカードユニット接続基板３１４が前後に重ねられた状態で着脱可能に取り付けられている。

【００６９】

発射制御装置３１２及び電源装置３１３は基板ボックス３１３ａに収容されて下枠セット２５１の背面側に固定されている。尚、発射制御装置３１２及び電源装置３１３は、便宜上それぞれ独立した制御装置として説明するが、実際には１つの基板（プリント基板）により構成される。

【００７０】

また、払出制御装置３１１は、基板ボックス３１１ａに収容されて、基板ボックス３１３ａ（発射制御装置３１２及び電源装置３１３）の背面側に固定されている。尚、払出制御装置３１１が収容される基板ボックス３１１ａには、上述した主制御装置２６１が収容される基板ボックス２６３と同様に封印部材が設けられ、基板ボックス３１１ａの開封された痕跡が残るようになっている。

【００７１】

加えて、カードユニット接続基板３１４は、基板ボックス３１４ａに収容されて、基板

ボックス３１３ａ（発射制御装置３１２及び電源装置３１３）の背面側に固定されている。なお、上記各基板ボックス３１１ａ，３１３ａ，３１４ａは透明樹脂材料等により構成されており、内部が視認可能となっている。

【００７２】

また、払出制御装置３１１には基板ボックス３１１ａから外方に突出する状態復帰スイッチ３２１が設けられている。例えば、払出モータ部の球詰まり等、払出エラーの発生時において状態復帰スイッチ３２１が押下されると、払出モータが正逆回転され、球詰まりの解消（正常状態への復帰）が図られる。

【００７３】

さらに、電源装置３１３には基板ボックス３１３ａから外方に突出するＲＡＭ消去スイッチ３２３が設けられている。本パチンコ機１０はバックアップ機能を有しており、万一停電が発生した際でも停電時の状態を保持し、停電からの復帰（復電）の際には停電時の状態に復帰させることができる。従って、通常手順で（例えば遊技ホールの営業終了時に）電源遮断すると電源遮断前の状態が記憶保持されることから、電源投入時に初期状態に戻したい場合には、ＲＡＭ消去スイッチ３２３を押しながら電源を投入する。

【００７４】

また、図６に示すように、内枠１２の右側部背面側には施錠装置６００が設けられている。施錠装置６００は、前面枠セット１４の前面側に露出するシリンダ錠７００（図１等参照）を備えており、該シリンダ錠７００の鍵穴に鍵を挿入し、一方に回動操作することで内枠１２を解錠でき、他方に回動操作することで前面枠セット１４を解錠できるようになっている。本実施形態では、内枠１２は外枠１１に対し施錠され、前面枠セット１４は内枠１２に対し施錠される。

【００７５】

尚、上記のように、外枠１１の右辺枠構成部１１ｄには、施錠装置６００に対応する上下区間全域を内枠１２の背面側から覆う延出壁部８３が形成されている（図５参照）。これにより、外枠１１の背面側から線材等を進入させ、当該線材等により施錠装置６００を操作することが困難となる。結果として、防御性能の向上を図ることができる。さらに、延出壁部８３は、裏パックユニット２０３及び下枠セット２５１の右端部（図５では左側の端部）を背面側から覆う構成となっており、内枠１２の閉状態においては、裏パックユニット２０３及び下枠セット２５１を開放できない構成となっている。

【００７６】

また、図４に示すように、内枠１２の前面側右下部（発射装置６０の右側）には、前面枠セット１４の開放を検知するための前面枠開放検知スイッチ９１が設けられ、図５に示すように、内枠１２の背面側右下部（図５では左下）には、内枠１２の開放を検知するための内枠開放検知スイッチ９２が設けられている。前面枠開放検知スイッチ９１及び内枠開放検知スイッチ９２は、それぞれスイッチ本体部に対して出没可能な検知部を備えており、前面枠開放検知スイッチ９１は検知部が前方に向くように設けられ、内枠開放検知スイッチ９２は検知部が後方へ向くように設けられる。そして、検知部がスイッチ本体部から突出した状態にある場合にはオン信号を主制御装置２６１に出力し、検知部がスイッチ本体部側に押圧され、スイッチ本体部に没入した状態ではオフ信号を主制御装置２６１に出力する構成となっている。つまり、前面枠開放検知スイッチ９１は前面枠セット１４の閉鎖時において検知部が前面枠セット１４の背面で押圧されてオフ状態となり、前面枠セット１４の開放時には、検知部が突出状態に戻ってオン状態となる。同様に、内枠開放検知スイッチ９２は内枠１２の閉鎖時において検知部が外枠１１の受部８５に一体形成された押圧部８６によって押圧されてオフ状態となり、内枠１２の開放時には検知部が突出状態に戻ってオン状態となる。

【００７７】

さて、本実施形態では、センターフレーム４７の上部に設けられる電飾ユニット４０１に特徴がある。以下、当該特徴部分を中心に、図８等を参照して説明する。電飾ユニット４０１は、中央ランプ部４０２と、中央ランプ部４０２の両側方に位置するサイドランプ

部４０３とを備えている。中央ランプ部４０２は、第１発光基板としての中央電飾基板４１１と、中央電飾基板４１１の前方を覆う中央カバー４１２とを備えている。

【００７８】

中央電飾基板４１１の前面側には、発光手段としての３色ＬＥＤ４１３（フルカラーＬＥＤ）が、中央電飾基板４１１の中央部に対して均等位置に３つ搭載されている。また、図９に示すように、中央電飾基板４１１は、絶縁材料（本例では樹脂材料）よりなる絶縁層４０５と、導電パターンが形成された配線層４０６とを交互に積層することにより構成されている。本実施形態では、４層の配線層４０６と、３層の絶縁層４０５とを備えている。

【００７９】

さらに、中央電飾基板４１１には、中央電飾基板４１１の全層を垂直に貫通するとともに、内周面全体に導電性メッキが施されたスルーホール４０８が形成されている。当該スルーホール４０８によって、各配線層４０６間が電気的に接続されている。尚、中央電飾基板４１１には、その他、抵抗器、コネクタ等の電子部品が搭載されているが、それらの図示を省略する。また、本実施形態では、配線層４０６のうち、中央電飾基板４１１の表裏面に露出する外層は基本的に中央電飾基板４１１上の配線に使用され、内側の露出しない内層は基本的に電源用や設置用として使用される。

【００８０】

加えて、中央カバー４１２は、前後に貫通する円筒状の周壁部４１５と、周壁部４１５の前縁部全周域から前方に膨らむ略ドーム状の前壁部４１６とを備えている。また、周壁部４１５は、前方に向けて次第に拡径する円筒状に成形された樹脂の表面に銀色のメッキが施されることによって構成されている。中央電飾基板４１１の３色ＬＥＤ４１３は、周壁部４１５の内周側に配置され、周壁部４１５の前縁部は該３色ＬＥＤ４１３よりも前方に位置している。さらに、前壁部４１６は、中央電飾基板４１１に搭載された３色ＬＥＤ４１３の光を前方に透過させることのできる若干白みがかった半透明樹脂によって構成されている。

【００８１】

サイドランプ部４０３は、第２発光基板としてのサイド電飾基板４２１と、サイド電飾基板４２１の前方を覆うサイドカバー４２２とを備えている。サイド電飾基板４２１の前面側には、発光手段としての複数のＬＥＤ４２３が互いに所定間隔を隔てて横並びに搭載されている。尚、サイド電飾基板４２１についても、中央電飾基板４１１と同様に４層基板によって構成されている。さらに、サイドカバー４２２は、基本的に中央カバー４１２の前壁部４１６と同様に、サイド電飾基板４２１に搭載されたＬＥＤ４２３の光を前方に透過させることのできる半透明樹脂によって構成されている。

【００８２】

また、本実施形態では、前後方向において、サイド電飾基板４２１は、中央電飾基板４１１よりも後方に配置されている。これに合わせて、サイドカバー４２２についても、中央カバー４１２よりも後方に配置されている。さらに、本実施形態では、中央電飾基板４１１よりも後方において、中央電飾基板４１１と、サイド電飾基板４２１との間を仕切る（光等の往来を遮断する）隔壁のようなものは形成されておらず、中央電飾基板４１１が臨む空間と、サイド電飾基板４２１が配置される空間とが続いている。特に、本実施形態では、中央電飾基板４１１の裏面（後面）のうちの両側部と、サイド電飾基板４２１の表面（前面）のうちの中央電飾基板４１１側の部位とが、前後方向において所定距離を隔てて対向するように配置されている。これにより、電飾ユニット４０１の簡素化を図りつつ、省スペース化を図ったり、サイド電飾基板４２１のＬＥＤ４２３を極力中央電飾基板４１１に寄せた位置で発光させたりすることができる。

【００８３】

さて、本実施形態では、中央電飾基板４１１に形成されたスルーホール４０８が裏面側から絶縁材料であり、かつ、不透明な樹脂（以下、閉塞材４２７と言う）によって塞がれている。尚、本実施形態では、中央電飾基板４１１の全てのスルーホール４０８、すなわ

ち、単に配線層４０６間を電気的に接続するスルーホール４０８だけでなく、３色ＬＥＤ４１３等のリード４１８が挿通されてはんだ付けされるスルーホール４０８についても閉塞材４２７で塞がれている。

【００８４】

また、本実施形態では、特別表示装置４３Ｌ、４３Ｒの変動表示が行われる通常の遊技状態においては、当否抽選にて大当たりに当選したことを教示する変動表示中においてのみ、中央ランプ部４０２が発光し得る（中央電飾基板４１１の３色ＬＥＤ４１３が発光し得る）ようになっている。すなわち、中央ランプ部４０２が発光することにより、大当たり状態が発生することが教示されることとなる。一方、サイドランプ部４０３に関しては、様々な演出等に応じて様々なタイミングで発光し得るように構成されている。

【００８５】

尚、本実施形態の中央電飾基板４１１には、スルーホール４０８以外には、中央電飾基板４１１を貫通する貫通孔が形成されていない。また、サイド電飾基板４２１に関しては、スルーホール４０８を閉塞材４２７で塞ぐことは行われない。加えて、大当たり状態中においては、確変大当たりに当選したことが教示されていない状態において、中央ランプ部４０２が発光することにより、実は確変大当たりに当選していたことが教示されるようになっている。

【００８６】

次に、パチンコ機１０の電気的構成について説明する。図７は、本パチンコ機１０の電気的構成を示すブロック図である。主制御手段としての主制御装置２６１（主基板）には、演算装置である１チップマイコンとしてのＣＰＵ５０１が搭載されている。ＣＰＵ５０１には、該ＣＰＵ５０１により実行される各種の制御プログラムや固定値データを記憶したＲＯＭ５０２と、そのＲＯＭ５０２内に記憶される制御プログラムの実行に際して各種のデータ等を一時的に記憶するメモリであるＲＡＭ５０３と、割込回路やタイマ回路、データ送受信回路などの各種回路等が内蔵されている。但し、ＣＰＵ、ＲＯＭ及びＲＡＭが１チップ化されておらず、それぞれの機能毎にチップ化されている構成であってもよい。

【００８７】

ＲＡＭ５０３は、ＣＰＵ５０１の内部レジスタの内容やＣＰＵ５０１により実行される制御プログラムの戻り先番地などが記憶されるスタックエリアと、各種フラグ及びカウンタ、Ｉ／Ｏ等の値が記憶される作業エリア（作業領域）と、バックアップエリア５０３ａとを備えている。

【００８８】

また、ＲＡＭ５０３は、パチンコ機１０の電源のオフ後においても電源装置３１３からバックアップ電圧が供給されてデータを保持（バックアップ）できる構成となっており、スタックエリア、作業エリア及びバックアップエリア５０３ａに記憶されるすべてのデータがバックアップされるようになっている。

【００８９】

バックアップエリア５０３ａは、停電などの発生により電源が切断された場合において、電源の再入時にパチンコ機１０の状態を電源切断前の状態に復帰させるべく、電源切断時（停電発生時を含む。以下同様）のスタックポインタや、各レジスタ、Ｉ／Ｏ等の値を記憶しておくエリアである。バックアップエリア５０３ａへの書き込みは、メイン処理によって電源切断時に実行され、逆にバックアップエリア５０３ａに書き込まれた各値の復帰は、電源入時（停電解消による電源入を含む。以下同様）のメイン処理において実行される。なお、ＣＰＵ５０１のＮＭＩ端子（ノンマスカブル割込端子）には、停電等の発生による電源断時に、後述する停電監視回路５４２から出力される停電信号ＳＫ１が入力されるように構成されており、停電の発生により、停電処理（ＮＭＩ割込み処理）が即座に実行される。

【００９０】

なお、少なくともスタックエリアとバックアップエリア５０３ａとに記憶されるデータをバックアップすれば、必ずしもすべてのエリアに記憶されるデータをバックアップする

必要はない。例えば、スタックエリアとバックアップエリア５０３ａとに記憶されるデータをバックアップし、作業エリアに記憶されるデータをバックアップしない構成としてもよい。

【００９１】

かかるＲＯＭ５０２及びＲＡＭ５０３を内蔵したＣＰＵ５０１には、アドレスバス及びデータバス等で構成されるバスライン５０４を介して入出力ポート５０５が接続されている。入出力ポート５０５には、後述するＲＡＭ消去スイッチ回路５４３、払出制御装置３１１、サブ制御装置２６２、第１及び第２特別表示装置４３Ｌ、４３Ｒ、普通図柄表示装置４１等が接続されている。この構成により、上述した特別表示装置４３Ｌ、４３Ｒ、及び普通図柄表示装置４１は、主制御装置２６１により直接的に制御される。一方、装飾図柄表示装置４２は、サブ制御装置２６２を介して制御される。

【００９２】

その他、便宜上、各種中継基板等の図示は省略するが、入出力ポート５０５には、入賞口スイッチ２２１、カウントスイッチ２２３、始動入賞ユニットスイッチ２２４ａ，２２４ｂ、スルーゲートスイッチ２２５、ハンドル１８の各種スイッチなどの各種検出スイッチや、各種基板、可変入賞装置３２の大入賞口を開閉するシャッタを動作させるための大入賞口ソレノイドなどの各種電気部品が接続されている。つまり、主制御装置２６１には、各種ケーブルコネクタのコネクタを接続するための複数の端子部（基板側コネクタ）が設けられているが、これら端子部等により、入出力ポート５０５が構成される。

【００９３】

サブ制御手段としてのサブ制御装置２６２（サブ制御基板）は、演算装置であるＣＰＵ５５１、該ＣＰＵ５５１により実行される各種の制御プログラムや固定値データを記憶したＲＯＭ５５２、該ＲＯＭ５５２内に記憶される制御プログラムの実行に際して各種のデータ等を一時的に記憶するメモリであるＲＡＭ５５３、入出力ポート５５４、バスライン５５５を備えるとともに、その他にも図示しない割込回路やタイマ回路、データ送受信回路などの各種回路等を備えている。ＲＡＭ５５３は、ＣＰＵ５５１による各種プログラムの実行時に使用されるワークデータやフラグを一時的に記憶するメモリである。

【００９４】

入出力ポート５５４には、バスライン５５５を介してＣＰＵ５５１、ＲＯＭ５５２、ＲＡＭ５５３が接続されるとともに、表示制御装置４５が接続されている。さらに、入出力ポート５５４には、スピーカＳＰ、演出ボタン１２５、各種電飾部及びランプ１０２～１０４等が接続されている。

【００９５】

サブ制御装置２６２のＣＰＵ５５１は、例えば主制御装置２６１から送信される指令信号（例えば変動パターンコマンド）に基づいて表示制御装置４５に表示制御を実行させ、装飾図柄表示装置４２に表示させる。なお、上記のように、本実施形態では、主制御装置２６１が制御する第１及び第２特別表示装置４３Ｌ、４３Ｒにて大当たりに当選したことを表示するようになっており、サブ制御装置２６２が制御する装飾図柄表示装置４２では、前記特別表示装置４３Ｌ、４３Ｒの表示に合わせた表示（付随的な演出表示）が行われる。

【００９６】

また、払出制御装置３１１は、払出装置３５８により賞球や貸し球の払出制御を行うものである。演算装置であるＣＰＵ５１１は、そのＣＰＵ５１１により実行される制御プログラムや固定値データ等を記憶したＲＯＭ５１２と、ワークメモリ等として使用されるＲＡＭ５１３とを備えている。

【００９７】

払出制御装置３１１のＲＡＭ５１３は、主制御装置２６１のＲＡＭ５０３と同様に、ＣＰＵ５１１の内部レジスタの内容やＣＰＵ５１１により実行される制御プログラムの戻り先番地などが記憶されるスタックエリアと、各種フラグ及びカウンタ、Ｉ／Ｏ等の値が記憶される作業エリア（作業領域）と、バックアップエリア５１３ａとを備えている。

【００９８】
ＲＡＭ５１３は、パチンコ機１０の電源のオフ後においても電源装置３１３からバックアップ電圧が供給されてデータを保持（バックアップ）できる構成となっており、スタックエリア、作業エリア及びバックアップエリア５１３ａに記憶されるすべてのデータがバックアップされるようになっている。なお、少なくともスタックエリアとバックアップエリア５１３ａとに記憶されるデータをバックアップすれば、必ずしもすべてのエリアに記憶されるデータをバックアップする必要はない。例えば、スタックエリアとバックアップエリア５１３ａとに記憶されるデータをバックアップし、作業エリアに記憶されるデータをバックアップしない構成としてもよい。
【００９９】
バックアップエリア５１３ａは、停電などの発生により電源が切断された場合において、電源の再入時にパチンコ機１０の状態を電源切断前の状態に復帰させるべく、電源切断時のスタックポインタや、各レジスタ、Ｉ／Ｏ等の値を記憶しておくエリアである。このバックアップエリア５１３ａへの書き込みは、メイン処理によって電源切断時に実行され、バックアップエリア５１３ａに書き込まれた各値の復帰は電源入時のメイン処理において実行される。なお、主制御装置２６１のＣＰＵ５０１と同様、ＣＰＵ５１１のＮＭＩ端子にも、停電等の発生による電源遮断時に停電監視回路５４２から停電信号ＳＫ１が入力されるように構成されており、その停電信号ＳＫ１がＣＰＵ５１１へ入力されると、停電時処理としてのＮＭＩ割込み処理が即座に実行される。
【０１００】
作業エリアには、払出制御装置３１１による賞球の払出許可が設定される払出許可フラグと、主制御装置２６１から送信されたコマンドを受信した場合に設定されるコマンド受信フラグと、主制御装置２６１から送信されたコマンドが記憶されるコマンドバッファとが設けられている。
【０１０１】
払出許可フラグは、賞球の払出許可を設定するフラグであり、主制御装置２６１から賞球の払出を許可する特定のコマンドが送信され、その特定のコマンドを受信した場合にオンされ、初期設定の処理又は電源遮断前へ復帰された場合にオフされる。本実施形態では、特定のコマンドは、払出制御装置３１１のＲＡＭ５１３の初期処理の指示をする払出初期化コマンドと、賞球の払出を指示する賞球コマンドと、主制御装置２６１が復電された場合に送信される払出復帰コマンドの３つである。
【０１０２】
コマンド受信フラグは、払出制御装置３１１がコマンドを受信したか否かを確認するフラグであり、いずれかのコマンドを受信した場合にオンされ、払出許可フラグと同様に、初期設定の処理又は電源遮断前へ復帰された場合にオフされるとともに、コマンド判定処理により受信されたコマンドの判定が行われた場合にオフされる。
【０１０３】
コマンドバッファは、主制御装置２６１から送信されるコマンドを一時的に記憶するリングバッファで構成されている。リングバッファは所定の記憶領域を有しており、その記憶領域の始端から終端に至るまで規則性をもってコマンドが記憶され、全ての記憶領域にコマンドが記憶された場合には、記憶領域の始端に戻りコマンドが更新されるよう構成されている。よって、コマンドが記憶された場合及びコマンドが読み出された場合に、コマンドバッファにおける記憶ポインタ及び読出ポインタが更新され、その各ポインタに基づきコマンドの記憶と読み出しとが行われる。
【０１０４】
かかるＲＯＭ５１２及びＲＡＭ５１３を内蔵したＣＰＵ５１１には、アドレスバス及びデータバスで構成されるバスライン５１４を介して入出力ポート５１５が接続されている。入出力ポート５１５には、ＲＡＭ消去スイッチ回路５４３、主制御装置２６１、発射制御装置３１２、払出装置３５８等がそれぞれ接続されている。
【０１０５】

カードユニット接続基板３１４は、パチンコ機１０前面の貸球操作部（球貸しボタン１２１及び返却ボタン１２２）と、遊技ホール等にてパチンコ機１０の側方に配置されるカードユニット（球貸しユニット）とにそれぞれ電気的に接続され、遊技者による球貸し操作の指令を取り込んでそれをカードユニットに出力するものである。なお、カードユニットを介さずに球貸し装置等から上皿１９に遊技球が直接貸し出される現金機では、カードユニット接続基板３１４を省略することも可能である。

【０１０６】

発射制御装置３１２は、発射装置６０による遊技球の発射を許可又は禁止するものであり、発射装置６０は、所定条件が整っている場合に駆動が許可される。具体的には、払出制御装置３１１から発射許可信号が出力されていること、遊技者がハンドル１８をタッチしていることをセンサ信号により検出していること、発射を停止させる発射禁止ボタン１８ａ（図１参照）が操作されていないことを条件に、発射装置６０が駆動され、ハンドル１８の操作量に応じた強度で遊技球が発射される。

【０１０７】

表示制御装置４５は、サブ制御装置２６２からの指示に従い、装飾図柄表示装置４２における装飾図柄の変動表示を実行するものである。この表示制御装置４５は、ＣＰＵ５２１と、プログラムＲＯＭ５２２と、ワークＲＡＭ５２３と、ビデオＲＡＭ５２４と、キャラクタＲＯＭ５２５と、ビデオディスプレイプロセッサ（ＶＤＰ）５２６と、入力ポート５２７と、出力ポート５２９と、バスライン５３０，５３１とを備えている。入力ポート５２７にはサブ制御装置２６２の入出力ポート５５４が接続されている。また、入力ポート５２７には、バスライン５３０を介して、ＣＰＵ５２１、プログラムＲＯＭ５２２、ワークＲＡＭ５２３、ＶＤＰ５２６が接続されている。また、ＶＤＰ５２６にはバスライン５３１を介して出力ポート５２９が接続されており、その出力ポート５２９には液晶表示装置たる装飾図柄表示装置４２が接続されている。

【０１０８】

表示制御装置４５のＣＰＵ５２１は、サブ制御装置２６２から送信される表示コマンドを、入力ポート５２７を介して受信するとともに、受信コマンドを解析し又は受信コマンドに基づき所定の演算処理を行ってＶＤＰ５２６の制御（具体的にはＶＤＰ５２６に対する内部コマンドの生成）を実施する。これにより、装飾図柄表示装置４２における表示制御を行う。

【０１０９】

プログラムＲＯＭ５２２は、そのＣＰＵ５２１により実行される各種の制御プログラムや固定値データを記憶するメモリであり、ワークＲＡＭ５２３は、ＣＰＵ５２１による各種プログラムの実行時に使用されるワークデータやフラグを一時的に記憶するメモリである。

【０１１０】

ビデオＲＡＭ５２４は、装飾図柄表示装置４２に表示される表示データを記憶するメモリであり、このビデオＲＡＭ５２４の内容を書き替えることにより、装飾図柄表示装置４２の表示内容が変更される。キャラクタＲＯＭ５２５は、装飾図柄表示装置４２に表示される図柄などのキャラクタデータを記憶するメモリである。

【０１１１】

ＶＤＰ５２６は、装飾図柄表示装置４２に組み込まれたＬＣＤドライバ（液晶駆動回路）を直接操作する一種の描画回路である。ＶＤＰ５２６はＩＣチップ化されているため「描画チップ」とも呼ばれ、その実体は、描画処理専用のファームウェアを内蔵したマイコンチップとでも言うべきものである。ＶＤＰ５２６は、ＣＰＵ５２１、ビデオＲＡＭ５２４等のそれぞれのタイミングを調整してデータの読み書きに介在するとともに、ビデオＲＡＭ５２４に記憶される表示データを所定のタイミングで読み出して装飾図柄表示装置４２に表示させる。

【０１１２】

また、電源装置３１３は、パチンコ機１０の各部に電力を供給する電源部５４１と、停

電等による電源遮断を監視する停電監視回路５４２と、ＲＡＭ消去スイッチ３２３に接続されてなるＲＡＭ消去スイッチ回路５４３とを備えている。

【０１１３】

電源部５４１は、図示しない電源経路を通じて、主制御装置２６１や払出制御装置３１１等に対して各々に必要な動作電源を供給する。その概要としては、電源部５４１は、外部より供給される交流２４ボルト電源を取り込み、各種スイッチやモータ等を駆動する＋１２Ｖ電源、ロジック用の＋５Ｖ電源、ＲＡＭバックアップ用のバックアップ電源などを生成し、これら＋１２Ｖ電源、＋５Ｖ電源及びバックアップ電源を主制御装置２６１や払出制御装置３１１等に対して供給する。なお、発射制御装置３１２に対しては払出制御装置３１１を介して動作電源（＋１２Ｖ電源、＋５Ｖ電源等）が供給される。同様に、各種スイッチやモータ等には、これらが接続される制御装置を介して動作電源が供給されることとなる。

【０１１４】

停電監視回路５４２は、停電等の発生による電源断時に、主制御装置２６１のＣＰＵ５０１及び払出制御装置３１１のＣＰＵ５１１の各ＮＭＩ端子へ停電信号ＳＫ１を出力する回路である。停電監視回路５４２は、電源部５４１から出力される最大電圧である直流安定２４ボルトの電圧を監視し、この電圧が２２ボルト未満になった場合に停電（電源断）の発生と判断して、停電信号ＳＫ１を主制御装置２６１及び払出制御装置３１１へ出力する。この停電信号ＳＫ１の出力によって、主制御装置２６１及び払出制御装置３１１は、停電の発生を認識し、停電時処理（ＮＭＩ割込み処理）を実行する。

【０１１５】

なお、電源部５４１は、直流安定２４ボルトの電圧が２２ボルト未満になった後においても、かかる停電時処理の実行に充分な時間の間、制御系の駆動電圧である５ボルトの出力を正常値に維持するように構成されている。よって、主制御装置２６１及び払出制御装置３１１は、停電時処理を正常に実行し完了することができる。

【０１１６】

ＲＡＭ消去スイッチ回路５４３は、ＲＡＭ消去スイッチ３２３のスイッチ信号を取り込み、そのスイッチ３２３の状態に応じて主制御装置２６１のＲＡＭ５０３及び払出制御装置３１１のＲＡＭ５１３のバックアップデータをクリアする回路である。ＲＡＭ消去スイッチ３２３が押下された際、ＲＡＭ消去スイッチ回路５４３は、ＲＡＭ消去信号ＳＫ２を主制御装置２６１及び払出制御装置３１１に出力する。ＲＡＭ消去スイッチ３２３が押下された状態でパチンコ機１０の電源が投入されると（停電解消による電源入を含む）、主制御装置２６１及び払出制御装置３１１においてそれぞれのＲＡＭ５０３，５１３のデータがクリアされる。

【０１１７】

以上詳述したように、第１実施形態によれば、センターフレーム４７の上部に設けられた電飾ユニット４０１に関し、中央電飾基板４１１に形成されたスルーホール４０８が閉塞材４２７によって閉塞されている。このため、中央電飾基板４１１よりも後方において、中央電飾基板４１１とサイド電飾基板４２１との間を、遮光性を有する材料で仕切らなくても、サイド電飾基板４２１のＬＥＤ４２３の光が中央電飾基板４１１のスルーホール４０８を介して前方に透過するといった事態を回避することができる。このため、中央電飾基板４１１の３色ＬＥＤ４１３が発光していないのにもかかわらず、サイド電飾基板４２１のＬＥＤ４２３の光が中央電飾基板４１１のスルーホール４０８を介して前方に透過することで、中央電飾基板４１１の３色ＬＥＤ４１３が発光することで発光して見える発光エリア（中央ランプ部４０２）が発光して見えてしまうといった事態を回避することができる。従って、構成の簡素化やデザインの自由度の向上を図りつつ、中央電飾基板４１１の３色ＬＥＤ４１３の発光状態と、否発光状態との見た目の切替わりがよりはっきりすることとなり、より明確な光の態様（演出等）を導出させることができる。

【０１１８】

特に、本実施形態では、中央電飾基板４１１の３色ＬＥＤ４１３が発光することで、遊

技者等に対して大当たり状態が発生することが教示されるため、中央電飾基板４１１のスルーホール４０８を介してサイド電飾基板４２１のＬＥＤ４２３の光が前方に透過してしまうことに起因して、遊技者等に大当たり状態が発生するのではないかと誤認識させてしまうといった事態を回避することができる。従って、中央電飾基板４１１が発光しているのか否かがはっきりせず、遊技者等に不快感や不安感等が生じたりして、遊技に集中できなくなってしまうといった事態を防止することができる。

【０１１９】

加えて、センターフレーム４７上部の限られた領域に配置される３色ＬＥＤ４１３及びＬＥＤ４２３を、中央電飾基板４１１及びサイド電飾基板４２１に分けて搭載し、中央電飾基板４１１及びサイド電飾基板４２１を前後にずらして配置することで、センターフレーム４７上部の限られた領域に多数の３色ＬＥＤ４１３及びＬＥＤ４２３を設置したり、細やかな点灯制御を行ったり、前後方向への立体感を出したりすることができ、デザイン性、演出性、放熱性等の向上を図ることができる。

【０１２０】

尚、本実施形態では、３色ＬＥＤ４１３等の電子部品のリード４１８を挿通するスルーホール４０８に関しても、閉塞材４２７で塞がれるようになっている。すなわち、リード４１８が挿通されるスルーホール４０８は基本的にはんだ付けが行われることで閉塞されるのではあるが、はんだ付けはスルーホール４０８を覆うために行われるものではなく、はんだによってスルーホール４０８が完全に覆われない場合も考えられるため、別途閉塞材４２７で覆う方がより完全となる。

【０１２１】

また、スルーホール４０８を塞ぐ閉塞材４２７は、中央電飾基板４１１の後面側に設けられている。このため、閉塞材４２７が視認されたり、閉塞材４２７によって影が生じたりする等し、電飾ユニット４０１の意匠性が低下してしまうといった事態を防止することができる。さらに、閉塞材４２７は、絶縁体によって構成されている。このため、例えば、閉塞材が導電性を有している場合のように、閉塞材が所望の設置領域（対応するランド）からはみ出してしまった場合に、当該閉塞材によって、電通しなくてもよい導電パターン間が電通してしまうといった事態を回避することができる。

【０１２２】

（第２実施形態）

以下、第２実施形態について、特徴部分を中心に図１０、図１１等を参照しつつ説明する。第２実施形態の電飾ユニット４３１（図１１参照）は、図１０に示すように、前後方向に重なるようにして配置される３枚の電飾基板、すなわち、前電飾基板４３２と、中電飾基板４３３と、後電飾基板４３４とを備えている。

【０１２３】

後電飾基板４３４の前面側には、発光手段としての３色ＬＥＤ４３４ａが、後電飾基板４３４の中央部に対して均等位置に４つ搭載されている。後電飾基板４３４は、遊技盤３０等に対して相対変位しないように、固定的に設けられている。

【０１２４】

中電飾基板４３３は、後電飾基板４３４の前方（かつ前電飾基板４３２の後方）に位置する待機位置と、後電飾基板４３４よりも下方に変位して、装飾図柄表示装置４２の前方に位置する可動位置との間を変位可能に構成された可動役物４４１に搭載されている。尚、図１０では、便宜上、電飾ユニット４３１のうち電飾基板４３２、４３３、４３４のみを示し、可動役物４４１を駆動させるための駆動手段（モータ等）及びリンク機構の図示を省略している。

【０１２５】

中電飾基板４３３は、後電飾基板４３４よりも大きく（面積が広く）構成されており、その中央部には、可動役物４４１が待機位置にある場合に、後電飾基板４３４の３色ＬＥＤ４３４ａの光を前方に透過させる略円形の中板中央開口部４４２が形成されている。また、中電飾基板４３３の前面側には、中板中央開口部４４２の周縁部において、発光手段

としての３色ＬＥＤ４３３ａが全部で６つ搭載されている。
【０１２６】
尚、可動役物４４１は、中電飾基板４３３を外周部において保持する本体部（図示略）と、中電飾基板４３３の前方を覆うとともに、中板中央開口部４４２に対応して貫通開口部４５２が形成された半透明の中カバー４４３とを備えている。
【０１２７】
前電飾基板４３２は、後電飾基板４３４の前方に位置しており、遊技盤３０等に対して相対変位しないように、固定的に設けられている。また、前電飾基板４３２は、中電飾基板４３３とほぼ同等の大きさに形成されるとともに、その中央部には、後電飾基板４３４の３色ＬＥＤ４３４ａの光を前方に透過させる略円形の前板中央開口部４５１が形成されている。当該前板中央開口部４５１の大きさと、中電飾基板４３３の中板中央開口部４４２の大きさはほぼ同じである上、可動役物４４１が待機位置にある場合には、中板中央開口部４４２の位置と、前板中央開口部４５１の位置とが前後に合致することとなる。さらに、前電飾基板４３２の前面側には、前板中央開口部４５１の周縁部において、発光手段としての３色ＬＥＤ４３２ａが全部で４つ搭載されている。
【０１２８】
加えて、本実施形態では、前板中央開口部４５１の周縁部に沿って、所定間隔毎に、前板中央開口部４５１の厚み方向に貫通するとともに、魚の形状を模した装飾開口部４５２が形成されている。可動役物４４１が待機位置にある場合には、当該複数の装飾開口部４５２が、中電飾基板４３３の３色ＬＥＤ４３３ａの前方に位置し、中電飾基板４３３の３色ＬＥＤ４３３ａが発光した場合には、該３色ＬＥＤ４３３ａの光が、装飾開口部４５２を介して、前方に透過することとなる。
【０１２９】
尚、前電飾基板４３２の前方には、前電飾基板４３２の全体を覆う半透明な前カバー４５３が設けられており、各電飾基板４３２、４３３、４３４の３色ＬＥＤ４３２ａ、４３３ａ、４３４ａが発光すれば、かかる発光態様を、前カバー４５３を介して、パチンコ機１０の前方から視認することができる。また、例えば、図１１に示すように、可動役物４４１が可動位置にある場合には、可動役物４４１の中板中央開口部４４２及び貫通開口部４５２を介して（その内周側に）装飾図柄表示装置４２の表示部を視認することができるようになっており、本例では、装飾図柄表示装置４２の表示部のうち中板中央開口部４４２越しに臨む領域にて（可動役物４４１の動きに追従して）特定の演出表示が行われるようになっている。
【０１３０】
さらに、例えば、可動役物４４１が待機位置にあり、中電飾基板４３３の３色ＬＥＤ４３３ａが発光した状態では、図１２に示すように、中電飾基板４３３の３色ＬＥＤ４３３ａの光が、前電飾基板４３２の装飾開口部４５２を介して前方に透過することから、前カバー４５３において、魚型の発光部が浮かび上がることとなる。加えて、例えば、可動役物４４１が待機位置にあり、後電飾基板４３４の３色ＬＥＤ４３４ａが発光した状態では、図１３に示すように、後電飾基板４３４の３色ＬＥＤ４３４ａの光が中板中央開口部４４２及び前板中央開口部４５１を介して前方に透過することから、前カバー４５３において、円形状の発光部が浮かび上がることとなる。また、この状態では、後電飾基板４３４の３色ＬＥＤ４３４ａの光のうち前電飾基板４３２の装飾開口部４５２側に向けて照射された光は、その大半が中電飾基板４３３で遮られるようになっており、極力、魚型の発光部が出現しないようになっている。
【０１３１】
尚、各電飾基板４３２、４３３、４３４は、上記第１実施形態のように４層の配線層４０６を有する多層基板によって構成されている。
【０１３２】
さて、本実施形態では、図１０に示すように、中電飾基板４３３において、配線層４０６間を電気的に接続する手段として、スルーホール（図示略）だけではなく、中板中央開

口部４４２の内周面において、複数の配線層４０６間を電気的に接続するようにして延在する導電材よりなる導電路４５７が設けられている。特に、本実施形態では、中板中央開口部４４２の内周面に対して全体的に導電材が付着しているのではなく、一部であって、導電材が付着していない部位も存在する。さらに、本実施形態では、中板中央開口部４４２には、導電路４５７が複数本形成されている。尚、図１０では、便宜上、導電路４５７以外の導電パターンの図示を省略している。

【０１３３】

また、前電飾基板４３２に関しては、装飾開口部４５２の内周面に導電路４５７が形成されている。尚、本実施形態では、中板中央開口部４４２、前板中央開口部４５１、及び装飾開口部４５２が透光開口部を構成する。また、後電飾基板４３４を第２発光基板とすると、中電飾基板４３３及び前電飾基板４３２が第１発光基板に相当し、中電飾基板４３３を第２発光基板とすると前電飾基板４３２が第１発光基板に相当する。さらに、装飾図柄表示装置４２が演出部材を構成する。

【０１３４】

以上詳述したように、第２実施形態によれば、中電飾基板４３３の中板中央開口部４４２の内周面、及び、前電飾基板４３２の装飾開口部４５２の内周面において、それぞれ中電飾基板４３３及び前電飾基板４３２の各配線層４０６間を電気的に接続する導電路４５７が形成されている。これにより、中板中央開口部４４２及び装飾開口部４５２にスルーホールのような機能を持たせる、換言すれば、スルーホールが後方に配置される電飾基板のＬＥＤの光を前方に透過させるための窓の役割を果たすように構成することができる。従って、中板中央開口部４４２及び装飾開口部４５２の有効活用を図ることができ、中板中央開口部４４２及び装飾開口部４５２のコンパクト化等を図ることができる。

【０１３５】

また、中板中央開口部４４２、前板中央開口部４５１、及び、装飾開口部４５２を設けることによって、前後に重なるように配置された電飾基板４３２、４３３、４３４のＬＥＤ４３２ａ、４３３ａ、４２４ａの発光態様を織り交ぜた態様を導出することができ、デザイン性や演出性を向上させることができる。特に、中電飾基板４３３が可動役物４４１に搭載され、中電飾基板４３３と、前電飾基板４３２及び後電飾基板４３４とが相対変位可能に構成され、可動役物４４１が待機位置にある場合には電飾基板４３２、４３３、４３４の発光態様の組合わせで様々な態様を導出でき、可動役物４４１が可動位置へと変位した場合には、中板中央開口部４４２越しに装飾図柄表示装置４２の特定の表示態様を堪能することもできる。これにより、光の態様のより一層の多様化等を図ることができる。加えて、中板中央開口部４４２、前板中央開口部４５１、及び、装飾開口部４５２を形成することによって、放熱性を更に向上させることができる。

【０１３６】

さらに、中電飾基板４３３において、導電路４５７は、中板中央開口部４４２の内周面全体に形成されるのではなく、一部にのみ形成されている。このため、中電飾基板４３３の表裏面の中板中央開口部４４２の周縁部のうち導電路４５７が形成されていない部位に隣接させて、他の導電パターンを延設することができ、スペースの有効利用、ひいては中電飾基板４３３の小型化を図ることができる。加えて、中板中央開口部４４２には、導電路４５７が複数本形成されている。このため、中板中央開口部４４２の内周面を利用して複数の電気的接続を行うことができ、スペース効率の向上等を図ることができる。

【０１３７】

（第３実施形態）

以下、第３実施形態について、特徴部分を中心に図１４～図１６等を参照しつつ説明する。図１４、図１５に示すように、第３実施形態における電飾ユニット４６１は、発光基板としての電飾基板４６２と、電飾基板４６２の前方に配置される装飾役物４６３とを備えている。

【０１３８】

装飾役物４６３は、５枚の花弁を有する花形状をなしており、基本的に有色透明の樹脂

材料によって構成されている。また、装飾役物４６３の外周面には、銀メッキが施されている。但し、当該銀メッキは、装飾役物４６３の外周面のうち、前端部側にのみ施されており、大部分はメッキが施されておらず、半透明な樹脂が露出した状態となっている。以下、銀メッキが施された部位を「メッキ部４６４」と称する。本実施形態では、装飾役物４６３のうち、メッキ部４６４が非透過部を構成し、それ以外の部位が透過部を構成する。

【０１３９】

電飾基板４６２の前面側には、発光手段としての３色ＬＥＤ４６５が搭載されている。図１４に示すように、本実施形態では、花形状をなす装飾役物４６３の各花弁にそれぞれ対応して、３色ＬＥＤ４６５が全部で５つ配設されている。３色ＬＥＤ４６５は、電飾ユニット４６１を正面視した場合に、メッキ部４６４よりも内周側に位置するように配置されている。尚、電飾基板４６２の前面のうち装飾役物４６３の後方に位置する部位には、電子部品では３色ＬＥＤ４６５が設けられているのみであり、図示はしないが、その他の電子部品は装飾役物４６３から外れた位置、或いは、電飾基板４６２の後面側に設けられている。

【０１４０】

また、図１６に示すように、電飾基板４６２の導電パターンは、装飾役物４６３を正面から見て、メッキ部４６４と重なる位置に沿って形成された沿線部４７１と、各３色ＬＥＤ４６５と沿線部４７１との間をほぼ最短距離で接続する連結部４７２とを備えている。すなわち、沿線部４７１は、装飾役物４６３の輪郭に沿って花形状に延在し、両端部がそれぞれスルーホール４７４を介して、電飾基板４６２の後面側の導電パターンに電気的に接続されている。さらに、電飾基板４６２に搭載される５つの３色ＬＥＤ４６５は同一の回路上に配設されていることとなり、これら全ての３色ＬＥＤ４６５は同時に点灯・消灯する。

【０１４１】

尚、電飾ユニット４６１を正面視した場合に、装飾役物４６３の外周側の範囲については、所定の不透明なカバー（図示略）によって電飾基板４６２の前方が覆われるようになっている。これにより、装飾役物４６３の外周側の電飾基板４６２の前面が視認されることで意匠性の低下を招くことを防止することができる。また、本実施形態では、電飾ユニット４６１を正面視した場合の装飾役物４６３の外周縁全周にメッキ部４６４が設けられているため、該メッキ部４６４で、電飾基板４６２の前方を覆う前記不透明なカバーの内周側端縁を隠す（前方を覆う）ことができ、意匠性の向上を図ることができる。

【０１４２】

以上詳述したように、第３実施形態によれば、電飾基板４６２に対し、装飾役物４６３を正面から見てメッキ部４６４と重なる位置に沿って導電パターン（沿線部４７１）を形成することで、当該沿線部４７１を極力目立たなくすることができる上、３色ＬＥＤ４６５を電通させるための連結部４７２の距離を極力短くすることができる。従って、装飾役物４６３越しに前方から視認される導電パターンを極力少なくすることができ、意匠性の低下を抑制することができる。

【０１４３】

なお、上述した実施形態の記載内容に限定されず、例えば次のように実施してもよい。

【０１４４】

（ａ）上記第１実施形態では、中央電飾基板４１１のスルーホール４０８が閉塞材４２７によって後面側から塞がれているが、前面側から塞がれてもよいし、両面側から塞がれてもよい。但し、中央電飾基板４１１の前面側に閉塞材４２７が盛られる場合には、３色ＬＥＤ４１３の光の態様に若干の影ができる等の意匠性の低下の要因となったり、閉塞材４２７のうちスルーホール４０８の外側にはみ出た部位を後で削り取るにしても、作業性の低下や導電パターンの損傷等を招いたりするおそれがあるため、前面側に閉塞材４２７を盛ることは避けることが望ましい。

【０１４５】

また、閉塞材４２７は必ずしも絶縁材料で構成される必要はない。但し、閉塞材４２７が導電材料で構成される場合、スルーホール４０８を閉塞する作業に際して、閉塞材４２７が対称のスルーホール４０８のランドだけでなく、別の電通する必要のない導電パターンにかかるように付着してしまうと、電子回路が機能しなくなってしまう等といった事態を招くため、絶縁材料で構成されることが望ましい。

【０１４６】

さらに、上記第１実施形態では、電子部品のリード４１８が挿通されるスルーホール４０８に関しても閉塞材４２７で閉塞される構成となっているが、該スルーホール４０８に関しては閉塞材４２７で閉塞しなくてもよい。すなわち、はんだ付けを該スルーホール４０８が閉塞されるように確実に行うことで、該スルーホール４０８については閉塞材４２７で閉塞しなくても済む。また、この場合、中央電飾基板４１１のプリント配線板（導電パターン）を形成した後、かつ、電子部品を実装する前に、電子部品のリード４１８が挿通されるスルーホール４０８以外のスルーホール４０８を（一括して）閉塞材４２７で塞ぐ工程を行うだけで、その後に電子部品のリード４１８が挿通されるスルーホール４０８を閉塞材４２７で塞ぐ工程を行わなくても済むため、作業性の向上が図られる。

【０１４７】

加えて、上記実施形態では、スルーホール４０８が中央電飾基板４１１に直接付着される閉塞材４２７によって閉塞されているが、中央電飾基板４１１のスルーホール４０８周縁部に直接付着されるようなものではなく、例えば、中央電飾基板４１１の後面のうち少なくともスルーホール４０８が設けられている部位を覆うようにして配置される閉塞部材（例えば不透明な板状体、別の基板を利用することも可能）によってスルーホール４０８が閉塞されていることとしてもよい。また、当該閉塞部材は、スルーホール４０８への光の通過を抑止するといった観点からすると、中央電飾基板４１１に近接又は接触させて配置することが好ましいが、この場合、閉塞部材は、中央電飾基板４１１の電通してほしくない回路が閉塞部材を介して電通してしまわないように、絶縁体で構成されることが好ましい。さらに、閉塞部材は、中央電飾基板４１１以外の部材に支持されてもよいし、係止手段等を備えて中央電飾基板４１１に係止されるように構成されてもよい。

【０１４８】

尚、電飾ユニット４０１等の形状や、電飾手段としての３色ＬＥＤ４１３等の配置や数、中央電飾基板４１１やサイド電飾基板４２１の配線層４０６の数などは特に限定されるものではなく、適宜変更可能である。また、スルーホール４０８でなくても、中央電飾基板４１１において貫通する貫通孔が形成された場合には、該貫通孔を閉塞材４２７で閉塞することとする。

【０１４９】

（ｂ）上記第１実施形態において、中央電飾基板４１１の表面の導電パターンを形成する（エッチングする）前に、スルーホール４０８用の貫通孔を形成するとともに、該貫通孔の内周面に導電性メッキを施すことでスルーホール４０８を形成し、その後、サブトラクティブ法で導電パターンを形成するための溶解液がスルーホール４０８内に進入しないように中央電飾基板４１１の表裏両面側から蓋をするといった工程を経ることで中央電飾基板４１１のプリント配線板が製造されることとし、導電パターンを形成した後、中央電飾基板４１１の表裏両面側に存在し、スルーホール４０８を封じていた蓋（閉塞部材）のうち少なくとも一方を残すことで、該蓋を閉塞材４２７として利用するように構成してもよい。この場合、中央電飾基板４１１のプリント配線板が形成された後でスルーホール４０８を埋める作業を行ったり、かかる作業を自動で行うための機械を導入したりする必要がなく、生産性の向上や製造コストの低減等を図ることができる。

【０１５０】

尚、上記実施形態において、導電パターンは、サブトラクティブ法で形成してもよいし、アディティブ法で形成してもよい。また、レジストの方法についても特に限定されるものではなく、エッチングレジスト、ソルダーレジスト　フォトレジスト、スクリーン印刷レジスト等適宜選択可能である。さらに、各電飾基板４１１、４２１は、４層の配線層４

０６を有する４層基板によって構成されているが、配線層４０６の数は限定されるものではなく、３層以下であってもよいし、４層以上であってもよい。

【０１５１】

（ｃ）上記第１実施形態では、配線層４０６間を電気的に接続するべく、中央電飾基板４１１の全ての層を貫通するスルーホール４０８を設けることとしているが、特にかかる構成に限定されるものではなく、例えば、図１７、図１８に示すように、配線層４０６のうち、中央電飾基板４１１の外側の外層と内側の内層との間を電気的に接続する接続孔としてのブラインドビア４８１や、内層と内層との間を電気的に接続するベリードビア４８２のみで配線層４０６間の電気的接続を行うこととしてもよい。

【０１５２】

さらに、かかる構成を採用することで、各絶縁層４０５の孔の位置をずらす（一つもかつ一部も重ならない）ことができ、この場合、サイド電飾基板４２１のＬＥＤ４２３の光が、中央電飾基板４１１に形成された孔を介して、前方に透過してしまうといった事態を抑制することができる。特に、中央電飾基板４１１に搭載される電子部品が、スルーホール４０８にリード４１８を通してはんだ付けされるスルーホール実装ではなく、表面実装されるものである場合には、中央電飾基板４１１における貫通孔をなくすことができ、かかる作用効果が一層確実に奏される。さらに、後工程で孔を塞ぐ（閉塞材４２７を盛る）必要がないことから、作業性の向上等を図ることができる。

【０１５３】

（ｄ）また、上記（ｃ）の構成を採用する場合、図１７に示すように、各絶縁層４０５毎に貫通孔を形成するよりも、図１８に示すように、複数の絶縁層４０５を２組に分けて、それぞれ接続（固着）し、貫通孔を形成する（２枚１組のものは２枚を固着した状態で孔開けする）ことが望ましい。この場合、貫通孔の形成作業及び貫通孔の内周面にメッキする作業の回数を減らすことができる上、配線層４０６間の電気的接続を行うために貫通孔の位置合わせをする或いは導電パターンで繋ぐ作業を低減させることができ、より一層作業性の向上を図ることができる。

【０１５４】

（ｅ）上記第１実施形態では、中央電飾基板４１１及びサイド電飾基板４２１の表面が前方に向くように配置され、中央電飾基板４１１の３色ＬＥＤ４１３及びサイド電飾基板４２１のＬＥＤ４２３の光が基本的に前方に向けて照射されるように構成されているが、特にこのような構成に限定されるものではない。例えば、中央電飾基板４１１の３色ＬＥＤ４１３及びサイド電飾基板４２１のＬＥＤ４２３から発せられる光がセンターフレーム４７の内周側（又は外周側）に向けて照射可能なように中央電飾基板４１１及びサイド電飾基板４２１が設けられるとともに、中央電飾基板４１１はサイド電飾基板４２１よりもセンターフレーム４７の内周側（又は外周側）に配置され、少なくとも中央電飾基板４１１の３色ＬＥＤ４１３が発光することで光って見える発光部がパチンコ機１０の前方に位置する遊技者から視認可能に構成されていることとしてもよい。さらに、当該構成を採用する場合には、ミラー等で中央電飾基板４１１及びサイド電飾基板４２１の３色ＬＥＤ４１３及びＬＥＤ４２３の光を前方に反射させて前方の遊技者から視認可能に構成してもよい。

【０１５５】

（ｆ）上記第２実施形態では、３枚の前電飾基板４３２、中電飾基板４３３、及び後電飾基板４３４が前後に配置されているが、前後に重なる電飾基板の枚数、可動の有無、基板を貫通する孔の形状等は特に限定されるものではなく、電飾基板において、自身よりも後方に配置される電飾基板の発光手段の光を前方に透過させる孔に導電路４５７が形成される構成であればよい。

【０１５６】

また、第２実施形態では、装飾図柄表示装置４２が演出部材を構成し、中電飾基板４３３の中板中央開口部４４２を介して装飾図柄表示装置４２を視認可能に構成されているが、電飾基板越しに視認可能とされる演出部材としては特に限定されるものではなく、例え

ば、電飾基板、フィギュア等の役物、外周面に装飾図柄がプリントされたシール等が取着されたリール、液晶表示装置やセグメント表示装置等の各種表示装置等を採用してもよい。

【０１５７】

（ｇ）上記第２実施形態において、中電飾基板４３３や前電飾基板４３２のスルーホールなくし、中板中央開口部４４２、前板中央開口部４５１、及び装飾開口部４５２に導電路４５７を形成することで、配線層４０６間の電気的接続を行うこととしてもよい。

【０１５８】

また、上記第２実施形態では、中板中央開口部４４２の内周面において導電路４５７が複数本形成されているが、特にこのような構成に限定されるものではなく、１本であってもよい。尚、中板中央開口部４４２の内周面に複数の導電路４５７が設けられる場合、当該導電路４５７に後電飾基板４３４の３色ＬＥＤ４３４ａの光が反射することを考慮して、例えば中板中央開口部４４２の中央部を中心とする均等位置に導電路４５７を設ける等してもよい。

【０１５９】

加えて、導電路４５７は、中板中央開口部４４２や装飾開口部４５２の内周面全体に形成されていてもよいが、中電飾基板４３３や前電飾基板４３２の表裏面において導電路４５７の近くには、当該導電路４５７とは電気的に接続しない導電パターンを近接して延在させることができないため、スペース効率の悪化を招くおそれがある。また、導電路４５７は、中板中央開口部４４２や装飾開口部４５２の内周面全体に導電性メッキを施してから、一部を残してその他の部位を除去する方法で構成してもよいし、中板中央開口部４４２や装飾開口部４５２の内周面のうち必要な部位にだけ、はんだ等の導電性材料を延設する方法で構成してもよい。

【０１６０】

（ｈ）上記第３実施形態では、装飾役物４６３の外形状（５枚の花弁を有する花形状）に対して３色ＬＥＤ４６５がバランス良く（各花弁に１つずつ）配置され、各３色ＬＥＤ４６５と沿線部４７１とを接続する連結部４７２についてもほぼ左右対称に延設されているが、特にこのような構成に限定されるものではない。

【０１６１】

例えば、図１９に示すように、星形の装飾役物（図示略）に対応して５つの角部を有する星形に沿線部４７１が延在し、その内周側に２つの３色ＬＥＤ４６５が配設される構成であって、各３色ＬＥＤ４６５から沿線部４７１にそれぞれ連結部４７２を延ばすと、かかる一対の連結部４７２が対称位置からかけ離れた位置に延在する場合、沿線部４７１の内周側における導電パターンが極力対称位置や、均等位置に延在するように、別途の装飾用パターン４８５を延在させるように構成してもよい。当該装飾用パターン４８５は、その他の導電パターンとともに回路を構成するものであってもよいし、回路と電通していない単なる飾りであってもよい。

【０１６２】

尚、装飾役物４６３の形状や、発光手段（３色ＬＥＤ４６５）の数、種類、配置、等は特に限定されるものではなく、適宜変更可能である。加えて、上記第３実施形態では、メッキ部４６４によって非透過部が構成されているが、例えば、装飾役物４６３の一部が不透明樹脂で構成されるような場合に、当該不透明樹脂が非透過部に相当するように構成してもよい。

【０１６３】

また、上記第３実施形態では、メッキ部４６４が装飾役物４６３を正面から見て装飾役物４６３の外周縁に沿って形成されているが、外周縁よりも内周側において形成されていてもよい。さらに、図１６等では、装飾役物４６３を正面から見て装飾役物４６３の外周縁のほぼ全周に沿って沿線部４７１が設けられているが、一部に沿って設けられていてもよい。

【０１６４】

（ｉ）上記第３実施形態では、メッキ部４６４が設けられているが、メッキ部４６４を省略するとともに、装飾役物４６３を正面から見て装飾役物４６３の外周縁（輪郭）に沿って沿線部４７１を形成することとしてもよい。この場合においても、沿線部４７１を極力目立たないように構成することができる。

【０１６５】

また、上記第３実施形態では特に言及していないが、電飾基板４６２に搭載される３色ＬＥＤ４６５は、表面実装されていることとしてもよい。この場合、３色ＬＥＤ４６５用のスルーホールが不要であり、装飾役物４６３越しにスルーホールが視認されることでの意匠性の低下を回避することができる。

【０１６６】

（ｊ）上記第３実施形態において、装飾役物４６３は、回転可能に構成されるとともに、回転対称形状をなしていることとしてもよい。この場合、装飾役物４６３が回転し、装飾役物４６３がどの向きで停止されたとしても、沿線部４７１がそれほど目立たないように、或いは、意匠性を低下させないように構成することができる。例えば、装飾役物４６３の回転軸が前後方向に延び、装飾役物４６３が正円形状をなし、その外周縁に沿ってメッキ部４６４が形成されている場合、装飾役物４６３がどの位置で止まっても、沿線部４７１を同じように目立たなくすることができる。また、装飾役物４６３が複数枚の花弁を有する花形状をなしている場合、沿線部４７１が装飾役物４６３の外周縁と一致しない位置で停止されても、意匠性の低下を招くおそれは低く、逆に見栄えが向上することも考えられる。従って、装飾役物４６３を回転可能に構成して装飾性等の向上を図りつつ、導電パターンが視認されることによる意匠性の低下を抑制することができる。

【０１６７】

（ｋ）上記実施形態では、センターフレーム４７の上部に設けられる電飾ユニットに具体化されているが、特にかかる構成に限定されるものではなく、例えば、前面枠セット１４の前面側に配置される電飾部材に適用することも可能である。また、各電飾基板は、リジッド基板でなくてもよく、フレキシブル基板であってもよい。

【０１６８】

（ｌ）上記実施形態において、大当たり種別の数や各種大当たり種別の可変入賞装置３２の開閉パターンは特に限定されるものではなく、種々の大当たり種別を設定することができる。また、上記実施形態では、当否抽選での当選確率が変動する構成となっているが、当選確率が変動せず（一定であり）、大当たり状態終了後に付与される時間短縮モードの期間（変動回数）が複数パターン用意されているパチンコ機に上記構成を適用してもよい。さらに、上記実施形態では、装飾図柄表示装置４２において、特別表示装置４３Ｌ、４３Ｒや普通図柄表示装置４１における変動表示が保留されていることを意味する画像オブジェクトを表示部の右下部や左下部で表示されるように構成されているが、変動表示の保留に対応するランプを設けるとともに点灯制御を行うことによって、変動表示の保留の有無や数を遊技者に教示してもよい。

【０１６９】

（ｍ）上記実施形態とは異なるタイプのパチンコ機として実施してもよい。例えば、遊技領域を移動する遊技球が入球可能な特定領域と、特定領域への入球を許容する開状態と、特定領域への入球を禁止する閉状態とに変化可能な可動手段（羽部材）とを具備する可変入球手段と、特定領域に入球した遊技球が入球可能な特定入球手段及び非特定入球手段と、特定入球手段に入球した遊技球を検知する特定入球検知手段（条件成立検出手段）と、特定領域の外部に設けられ、遊技領域を移動する遊技球が入球可能な始動入球手段と、始動入球手段に入球した遊技球を検知する始動入球検知手段と、可変入球手段の開閉制御を行う主制御手段とを備え、特定領域に遊技球が入球した場合には、当該遊技球が特定入球手段及び非特定入球手段のどちらに入球する場合であっても遊技者に所定数の遊技価値（遊技球）が付与され、主制御手段は、始動入球検知手段の検知に基づいて、可変入球手段を第１時間だけ１回又は複数回開状態とさせる小当たり状態、又は、可変入球手段を前記第１時間よりも長い第２時間開状態とさせる、又は、開状態とされた可変入賞手段に規

定個数の遊技球が入球するまでを１ラウンドとして、これを規定回数繰り返す大当たり状態を発生させるか否かの当否抽選を行い、当否抽選にて小当たりに当選した場合には小当たり状態を発生させ、当否抽選にて大当たりに当選した場合、及び、特定入球検知手段の検知があった場合には大当たり状態を発生させるといった遊技機に適用してもよい。

【０１７０】

加えて、パチンコ機以外にも、アレンジボール機、それに類する雀球等の各種遊技機、回胴式遊技機としてのスロットマシンや、スロットマシンとパチンコ機とを融合した形式の遊技機などとして実施してもよい。また、例えば、スロットマシンの特別遊技状態としては、特定の子役（例えば、所定数のメダルを獲得できる子役、スタートレバーを操作することで行われる当否抽選をもう一度行うことができるといった子役）の当選確率が高められた状態（所謂、ボーナスやアシストリプレイタイム等）、特定の子役が成立した場合に、複数設けられたストップボタンの押し順を当てることで、該特定の子役を獲得可能な遊技機において、前記押し順のナビゲートが行われる状態等が挙げられる。

【０１７１】

［付記］

上記実施形態から把握できる技術的思想について、以下に記載する。

【０１７２】

手段Ａ－１．所定の領域において、発光手段が搭載され、当該発光手段の光を所定の方向に向けて照射可能に設けられた複数の発光基板を備え、

前記複数の発光基板のうち、第１発光基板は、第２発光基板よりも前記所定の方向における前方（先方側）に配置されるとともに、当該第１発光基板の厚み方向に貫通するようにして形成された貫通孔が閉塞されていることを特徴とする遊技機。

【０１７３】

手段Ａ－１によれば、第１発光基板よりも前記所定の方向における後方（以下単に後方と言う）において、第１発光基板と第２発光基板との間を、遮光性を有する材料で仕切らなくても、第２発光基板の発光手段の光が第１発光基板の貫通孔を介して前記所定の方向における前方（以下単に前方と言う）に透過するといった事態を回避することができる。このため、第１発光基板の発光手段が発光していないのにもかかわらず、第２発光基板の発光手段の光が第１発光基板の貫通孔を介して前方に透過することで、第１発光基板の発光手段が発光することで発光して見える発光エリアが発光して見えてしまうといった事態を回避することができる。従って、構成の簡素化やデザインの自由度の向上を図りつつ、第１発光基板の発光手段の発光状態と、否発光状態との見た目の切替わりがよりはっきりすることとなり、より明確な光の態様（演出等）を導出させることができる。

【０１７４】

特に、第１発光基板の発光手段が発光することで、遊技者等に対して所定の条件が成立したこと等を教示・示唆・報知等する場合には、本手段Ａ－１の構成を採用することで、遊技者等に誤認識させてしまうといった事態を回避することができる。従って、第１発光基板の発光手段が果たして発光しているのか否かがはっきりしないことに起因して、遊技者等に不快感や不安感等が生じたりして、遊技に集中できなくなってしまうといった事態を防止することができる。

【０１７５】

加えて、所定の領域に配置される発光手段を、第１発光基板及び第２発光基板に分けて搭載し、第１発光基板及び第２発光基板を前後にずらして配置することで、所定の領域に多数の発光手段を設置したり、細やかな点灯制御を行ったり、前後方向への立体感を出したりすることができ、デザイン性、演出性、放熱性等の向上を図ることができる。

【０１７６】

尚、第１発光基板においてその厚み方向に形成された孔としては、内周側に導電性メッキが施され、導電パターンが形成される配線層間を電気的に接続するスルーホールだけでなく、第１発光基板に搭載される電子部品を取り付けるための孔（導電性メッキはあってもなくてもよい）等の全ての貫通した孔を含む趣旨である。さらに、第１発光基板と第２

発光基板とは、少なくとも一部が、前記所定の方向における前後に対向するようにして配置されていることとしてもよい。

【０１７７】

また、例えば、各発光基板は発光手段の光を（遊技機の）前方に向けて照射可能に構成され、第１発光基板は第２発光基板よりも前方に配置されていることとしてもよい。さらに、例えば、略枠状をなして内周（又は外周）の領域が遊技者から視認可能な枠状部材に対して、発光手段から発せられる光が枠状部材の内周側（又は外周側）に向けて照射可能なように第１発光基板及び第２発光基板が設けられるとともに、第１発光基板は第２発光基板よりも枠状部材の内周側（又は外周側）に配置され、少なくとも第１発光基板の発光手段が発光することで光って見える発光部が遊技機の前方に位置する遊技者から視認可能に構成されていることとしてもよい。さらに、当該構成を採用する場合には、ミラー等で第１発光基板及び第２発光基板の発光手段の光を前方に反射させて前方の遊技者から視認可能に構成してもよい。

【０１７８】

手段Ａ－２．所定条件の成立を契機として遊技者にとって有利な特別遊技状態を発生させるか否かの当否抽選が行われる構成において、

前記第１発光基板に搭載された発光手段は、前記当否抽選にて前記特別遊技状態を発生させることが決定された場合に、対応する発光態様に状態変化し得るように構成されていることを特徴とする手段Ａ－１に記載の遊技機。

【０１７９】

手段Ａ－２によれば、第１発光基板の発光手段による発光態様が、遊技者の損得に直結する当否抽選の結果を教示し得るものであるため、第１発光基板の貫通孔を介して第２発光基板の発光手段の光が前方に透過してしまうことを防止し、第１発光基板の発光態様の誤認識を回避することでの作用効果が一層顕著に奏されることとなる。すなわち、例えば、第１発光基板の発光手段は当否抽選にて特別遊技状態に当選した場合にのみ発光する構成において、第１発光基板の発光手段は発光していないが第２発光基板の発光手段の光が第１発光基板の貫通孔を透過したことで、遊技者は、第１発光基板が発光しているのではないかと勘違いをし、ぬか喜びしたが特別遊技状態が発生しないため不愉快な思いをするとともに疑心暗鬼になり、遊技をすること自体が不快になってしまうといった事態を回避することができる。

【０１８０】

手段Ａ－３．前記第１発光基板のうち発光手段が搭載される表面（前面）とは反対の裏面（後面）側において前記貫通孔が閉塞されていることを特徴とする手段Ａ－１又はＡ－２に記載の遊技機。

【０１８１】

手段Ａ－３によれば、貫通孔を塞ぐことで形成される突部が視認されたり、突部によって影が生じたりする等し、意匠性が低下してしまうといった事態を防止することができる。

【０１８２】

手段Ａ－４．前記貫通孔は絶縁体によって閉塞されていることを特徴とする手段Ａ－３に記載の遊技機。

【０１８３】

手段Ａ－４によれば、第１発光基板において、貫通孔としてのスルーホールを塞ぐ閉塞材が導電性を有している場合のように、閉塞材が所望の設置領域からはみ出してしまった場合に、当該閉塞材によって、電通しなくてもよい導電パターン間が電通してしまうといった事態を回避することができる。

【０１８４】

手段Ａ－５．前記第１発光基板の表面に導電パターンが形成される前の状態である前駆体に対して厚み方向に貫通する貫通孔を形成し、当該貫通孔の内周側に導電性メッキを施してスルーホールを形成した後、サブトラクティブ法で導電パターンを形成することによ

って、絶縁層と、導電パターンが形成された配線層とを有する前記第１発光基板のプリント配線板が形成される構成であって、
前記第１発光基板は、前記導電パターンを形成する際に、前記スルーホールを塞いで当該貫通孔内への溶解液の進入を防ぐ閉塞部材が、前記プリント配線板の表裏面の少なくとも一方側において残された状態で遊技機に設置されていることを特徴とする手段Ａ－１乃至Ａ－４のいずれかに記載の遊技機。
【０１８５】
手段Ａ－５によれば、導電パターンを形成する（エッチングする）際に、溶解液がスルーホールに進入しないようにスルーホールを塞ぐ閉塞部材の少なくとも一部を残すことで、貫通孔を介しての光の透過を防止することができる。従って、第１発光基板のプリント配線板が形成された後でスルーホールを埋める作業を行ったり、かかる作業を自動で行うための機械を導入したりする必要がなく、生産性の向上や製造コストの低減等を図ることができる。
【０１８６】
手段Ｂ－１．所定の領域において、発光手段が搭載され、当該発光手段の光を所定の方向に向けて照射可能に設けられた複数の発光基板を備え、
前記複数の発光基板のうち、第１発光基板は、第２発光基板よりも前記所定の方向における前方（先方側）に配置されるとともに、導電パターンが形成される配線層を２層以上有し、
前記第１発光基板には、内周側に導電性メッキが施され、前記配線層間を電気的に接続するための接続孔が形成され、当該接続孔は、当該接続孔を介して光が透過しないように閉塞されていることを特徴とする遊技機。
【０１８７】
手段Ｂ－１によれば、第１発光基板よりも後方において、第１発光基板と第２発光基板との間を、遮光性を有する材料で仕切らなくても、第２発光基板の発光手段の光が第１発光基板の接続孔を介して前方に透過するといった事態を回避することができる。結果として、基本的に、上記手段Ａ－１と同様の作用効果が奏される。
【０１８８】
手段Ｂ－２．前記第１発光基板は、導電パターンが形成される配線層を３層以上有する多層基板により構成され、
前記第１発光基板には、表面と裏面との間を真っ直ぐに貫通するスルーホールは形成されておらず、前記第１発光基板の表面及び裏面のうち一方に形成された前記配線層と、前記第１発光基板の絶縁層で挟まれた前記配線層とを接続するブラインドビアが形成されていることを特徴とする手段Ｂ－１に記載の遊技機。
【０１８９】
手段Ｂ－２によれば、第１発光基板には、接続孔としてのブラインドビアが形成されており、表面と裏面との間を真っ直ぐに貫通するスルーホールを形成することなく、第１発光基板の配線層間の電気的接続を確実に行うことができる。従って、第１発光基板に対し、接続孔を閉塞するようにして樹脂を盛る等しなくてもよく、第１発光基板の表裏面の凹凸を極力低減させるとともに、作業の簡素化等を図ることができる。
【０１９０】
尚、上記手段Ａ－２のように、第１発光基板の発光態様で、特別遊技状態の発生を教示し得るように構成されていることとしてもよい。また、第１発光基板はビルドアップ工法で形成されることとしてもよい。加えて、第１発光基板の絶縁層で挟まれた配線層の間を接続するベリードビアを形成することとしてもよい。
【０１９１】
手段Ｂ－３．前記第１発光基板は、導電パターンが形成される配線層を４層以上有する多層基板により構成され、
前記第１発光基板を構成する複数の絶縁層及び配線層のうち、少なくとも１つ以上の絶縁層を残すようにして２つ以上の絶縁層が含まれるように絶縁層と配線層とが交互に積み

重ねられて互いに接続された第１積層体と、残りの絶縁層及び配線層が交互に積み重ねられて互いに接続された第２積層体とがそれぞれ形成された後、前記第１積層体に対してその厚み方向に貫通し、内周面が導電性メッキ加工された第１貫通孔を形成するとともに、前記第２積層体に対してその厚み方向に貫通し、内周面が導電性メッキ加工された第２貫通孔を形成し、前記第１積層体と前記第２積層体とを積み重ねて接続することで、前記第１発光基板が構成され、

前記第１貫通孔の形成位置と、前記第２貫通孔の形成位置とが合致しない（一つもかつ一部も重ならない）ように構成されていることを特徴とする手段Ｂ－１又はＢ－２に記載の遊技機。

【０１９２】

手段Ｂ－３によれば、第１発光基板を真っ直ぐに貫通するスルーホールを形成することなく、配線層間の電気的接続を確実に行うことができる。従って、上記手段７と同様の作用効果が奏される。また、本手段Ｂ－３では、３つ以上ある絶縁層（及びこれに敷設される導電パターン）を１層ずつ貫通孔の加工をして積み重ねていくのではなく、第１発光基板を構成する複数の絶縁層を２組に分けて（例えば、絶縁層が４層あれば、２層＋２層で２組でもよいし、３層＋１層で２組でもよい。）それぞれ接続し、それからそれぞれに貫通孔を形成している。このため、貫通孔の形成作業（及び貫通孔の内周面に導電性メッキする作業）の回数を減らすことができる上、配線層間の電気的接続を行うために貫通孔の位置合わせをする、或いは、導電パターンで繋ぐ作業を低減させることができ、より一層作業性の向上、生産性の向上等を図ることができる。

【０１９３】

手段Ｂ－４．前記第１発光基板に搭載される電子部品は表面実装されることを特徴とする手段Ｂ－１乃至Ｂ－３のいずれかに記載の遊技機。

【０１９４】

手段Ｂ－４によれば、第１発光基板において、電子部品がスルーホール実装される場合のように、電子部品のリードを挿通させるスルーホール（部品孔）を形成する必要がないため、上記手段Ｂ－１のように、接続孔が閉塞されている構成とすることで、第１発光基板において厚み方向に貫通する孔が存在しなくなる。従って、接続孔が塞がれていても、別途、第１発光基板を貫通する部品孔を埋める作業が必要になってしまうといった事態を回避することができる。

【０１９５】

手段Ｃ－１．所定の領域において、発光手段が搭載され、所定の方向に向けて前記発光手段の光を照射可能に設けられた複数の発光基板を備え、

前記複数の発光基板のうち、第１発光基板は、第２発光基板よりも前記所定の方向における前方（先方側）に配置されるとともに、導電パターンが形成される配線層を２層以上有し、

前記第１発光基板には、前記第２発光基板の前記発光手段の光を前記所定の方向に透過させるための透光開口部が形成されるとともに、当該透光開口部の内周面のうち少なくとも一部において、前記第１発光基板の前記配線層間を電気的に接続する導電性材料よりなる導電路が形成されていることを特徴とする遊技機。

【０１９６】

手段Ｃ－１によれば、第１発光基板に形成された透光開口部の内周面に対し、第１発光基板の配線層間を電気的に接続する導電路が形成されている。これにより、透光開口部にスルーホールのような機能を持たせる、換言すれば、スルーホールが第２発光基板の発光手段の光を前記所定の方向における前方（以下単に前方と言う）に透過させるための窓の役割を果たすように構成することができる。従って、透光開口部の有効活用を図ることができ、第１発光基板のコンパクト化等を図ることができる。

【０１９７】

また、透光開口部を設けることによって、第１及び第２発光基板の発光手段の発光態様をより密に重ね合せる（コラボレーションさせる）ことができ、第１及び第２発光基板の

発光手段の発光態様を織り交ぜた濃密な態様を導出させたり、透かし絵のように発光部の形状を整えたりしてデザイン性を向上させたり、例えば、第１及び第２発光基板が相対的に変位可能に構成されている場合には、相対的な配置の組み替えをより多彩かつダイナミックに行うことができたりする。さらに、所定の領域に配置される発光手段を、第１発光基板及び第２発光基板に分けて搭載し、第１発光基板及び第２発光基板を前後にずらして配置することで、所定の領域に多数の発光手段を設置したり、細やかな点灯制御を行ったり、前後方向への立体感を出したりすることができ、デザイン性、演出性、放熱性等の向上を図ることができる。加えて、透光開口部を形成することによって、第１発光基板の放熱性を更に向上させることができる。

【０１９８】

尚、導電路は導電性メッキにより構成されてもよいし、はんだ等のその他の導電性材料で構成されてもよい。また、透光開口部は１０ｍｍ以上の幅を有していることとしてもよい。さらに、透光開口部の内周形状は、所定のオブジェクトを模して形成されていることとしてもよい。

【０１９９】

手段Ｃ－２．前記第１発光基板と前記第２発光基板とが相対変位可能に構成されていることを特徴とする手段Ｃ－１に記載の遊技機。

【０２００】

手段Ｃ－２によれば、光の態様の多様化等を図ることができる。また、例えば、第２発光基板の発光手段を、第１発光基板の設置領域（第１発光基板の発光手段が発光すれば光って見える発光領域）にて発光させ得るように構成することで、該領域内に固定的に配置される発光手段の数を増やさずとも多くの発光手段による発光態様を導出することが可能となり、第１発光基板に搭載される発光手段の数を減らすことができる上、発光態様にも変化を付けることができる。

【０２０１】

手段Ｃ－３．所定の領域において、発光手段が搭載された発光基板と、当該発光基板の（遊技機の前後方向における）後方に配置される演出部材とを備え、

前記発光基板は、導電パターンが形成される配線層を２層以上有し、

前記発光基板には、前記演出部材を前方から視認可能とするための透光開口部が形成されるとともに、当該透光開口部の内周面のうち少なくとも一部において、前記発光基板の前記配線層間を電気的に接続する導電性材料よりなる導電路が形成されていることを特徴とする遊技機。

【０２０２】

手段Ｃ－３によれば、発光基板の発光態様と、演出部材の視認態様とをより密にコラボレーションさせることができ、基本的に上記手段Ｃ－１と同様の作用効果が奏される。尚、演出部材としては、例えば、発光手段が搭載された発光基板、フィギュア等の役物、外周面に装飾図柄がプリントされたシール等が取着されたリール、液晶表示装置やセグメント表示装置等の各種表示装置等が挙げられる。

【０２０３】

手段Ｃ－４．前記発光基板と前記演出部材とが相対変位可能に構成されていることを特徴とする手段Ｃ－３に記載の遊技機。

【０２０４】

手段Ｃ－４によれば、発光基板と演出部材とによる視認態様の多様化等を図ることができる。また、例えば、演出部材を、発光基板の設置領域（発光基板の発光手段が発光すれば光って見える発光領域）にて視認させ得るように構成することで、該領域内に固定的に配置される発光基板の発光手段の数を増やさずともより多彩な視認態様を導出することが可能となる。

【０２０５】

手段Ｃ－５．前記透光開口部の内周面のうち周方向において一部にのみ前記導電路が形成されていることを特徴とする手段Ｃ－１乃至Ｃ－４のいずれかに記載の遊技機。

【０２０６】
手段Ｃ－５によれば、透光開口部の周縁部のうち導電路が形成されていない部位に隣接させて、他の導電パターンを延設することができ、スペースの有効利用、ひいては発光基板の小型化を図ることができる。
【０２０７】
手段Ｃ－６．前記透光開口部には、前記導電路が複数本形成されていることを特徴とする手段Ｃ－５に記載の遊技機。
【０２０８】
手段Ｃ－６によれば、透光開口部の内周面を利用して複数の電気的接続を行うことができ、スペース効率の向上等を図ることができる。
【０２０９】
手段Ｄ－１．複数の発光手段が搭載され、当該発光手段の光を（遊技機の前後方向における）前方に向けて照射可能に設けられた発光基板と、
前記発光基板の前方に配置される装飾役物とを備え、
前記装飾役物は、前記発光手段の光を透過させる透過部と、透過させない非透過部とを備え、
前記発光基板の導電パターンは、前記装飾役物を正面から見て、前記非透過部と重なる位置に沿って形成された沿線部と、前記各発光手段と前記沿線部との間を（ほぼ最短距離で）接続する連結部とを備えていることを特徴とする遊技機。
【０２１０】
手段Ｄ－１によれば、電飾基板に対し、装飾役物を正面から見て非透過部と重なる位置に沿って導電パターン（沿線部）を形成した場合、当該沿線部を極力目立たなくすることができるとともに、各発光手段を電通させるための連結部の長さを極力短くすることができる。従って、装飾役物越しに視認される導電パターンを極力少なくすることができ、意匠性の低下を抑制することができる。
【０２１１】
尚、各発光手段は、一続きの沿線部に電気的に接続され、沿線部への電力供給が停止されることで、全ての発光手段が消灯し、沿線部に電力が供給されることで、全ての発光手段が点灯する。
【０２１２】
手段Ｄ－２．複数の発光手段が搭載され、当該発光手段の光を（遊技機の前後方向における）前方に向けて照射可能に設けられた発光基板と、
前記発光基板の前方に配置される装飾役物とを備え、
前記発光基板の導電パターンは、前記装飾役物を正面から見て、前記装飾役物の外形線（輪郭）と重なる位置に沿って形成された沿線部と、前記各発光手段と前記沿線部との間を（ほぼ最短距離で）接続する連結部とを備えていることを特徴とする遊技機。
【０２１３】
手段Ｄ－２によれば、導電パターンを極力目立たないようにすることができる。結果として、基本的に、上記手段Ｄ－１と同様の作用効果が奏される。
【０２１４】
手段Ｄ－３．前記装飾役物は、回転可能に構成されるとともに、回転対称形状をなしていることを特徴とする手段Ｄ－１又はＤ－２に記載の遊技機。
【０２１５】
手段Ｄ－３によれば、装飾役物が回転し、装飾役物がどの向きで停止されたとしても、沿線部がそれほど目立たないように、或いは、意匠性を低下させないように構成することができる。例えば、装飾役物の回転軸が前後方向に延び、装飾役物がその回転軸を中心とする正円形状をなしている場合、装飾役物がどの位置で止まっても、沿線部を同じように目立たなくすることができる。また、装飾役物が複数枚の花弁を有する花形状をなしている場合、沿線部が装飾役物の外周縁と一致しない位置で停止されても、意匠性の低下を招くおそれは低く、逆に見栄えが向上することも考えられる。従って、装飾役物を回転可能

に構成して装飾性等の向上を図りつつ、導電パターンが視認されることによる意匠性の低下を抑制することができる。

【０２１６】

尚、手段Ｄ－１に対応して、前記非透過部は、前記装飾役物の回転軸を中心とする同心円上に延設されていることとしてもよい。この場合、装飾役物がどの回転位相で停止しても、沿線部と非透過部とが前後に合致するように構成することができる。

【０２１７】

手段Ｄ－４．前記装飾役物の形状に対して、複数の前記連結部が不均等な位置に延在する構成において、

前記発光手段とは直接的に電気的接続されない導電パターンが、前記複数の連結部と合わせて、ほぼ均等位置に配置されるように延設されていることを特徴とする手段Ｄ－１乃至Ｄ－３のいずれかに記載の遊技機。

【０２１８】

例えば、発光手段が不均等な位置に設けられる場合（例えば、正面視５角形の装飾役物に対応して、中央と、中央上部と、左下部とに発光手段を配設するような場合）、これらの連結部が視認されると意匠性の低下を招くことが懸念される。これに対し、手段Ｄ－４によれば、複数の連結部と合わせて導電パターンが均等位置に延在するように、別の導電パターンを延設させている。これにより、装飾役物を介して導電パターンが視認される場合でも、意匠性の低下を招くことを抑制することができる。

【０２１９】

以下に、上記各手段が適用される各種遊技機の基本構成を示す。

【０２２０】

Ａ．上記各手段における前記遊技機は弾球遊技機であること。より詳しい態様例としては、「遊技者が操作する操作手段（遊技球発射ハンドル）と、当該操作手段の操作に基づいて遊技球を弾いて発射する発射手段（発射モータ等）と、当該発射された遊技球が案内される遊技領域と、前記遊技領域内に配置された各入球手段（一般入賞口、可変入賞装置、作動口等）とを備えた弾球遊技機」が挙げられる。

【０２２１】

Ｂ．上記各手段における前記遊技機は略鉛直方向に延びる遊技領域を備えた弾球遊技機であること。より詳しい態様例としては、「遊技者が操作する操作手段（遊技球発射ハンドル）と、当該操作手段の操作に基づいて遊技球を弾いて発射する発射手段（発射モータ等）と、当該発射された遊技球が案内され、略鉛直方向に沿って延びる所定の遊技領域（例えば遊技領域は遊技盤面等により構成される）と、前記遊技領域内に配置された各入球手段（一般入賞口、可変入賞装置、作動口等）とを備え、前記遊技領域を流下する遊技球の挙動を視認可能に構成されてなる弾球遊技機」が挙げられる。

【０２２２】

Ｃ．上記各手段における前記遊技機、又は、上記各弾球遊技機は、パチンコ機又はパチンコ機に準ずる遊技機であること。

【０２２３】

Ｄ．上記各手段における遊技機は、スロットマシン等の回胴式遊技機であること。より詳しい態様例としては、「複数の識別情報（図柄）からなる識別情報列（図柄列；具体的には図柄の付されたリール、ベルト等の回転体）を変動表示（具体的にはリール等の回転）した後に識別情報列を停止表示する可変表示手段（具体的にはリールユニット等の回転体ユニット）を備え、始動用操作手段（具体的にはスタートレバー）の操作に起因して識別情報（図柄）の変動が開始され、停止用操作手段（具体的にはストップボタン）の操作に起因して識別情報（図柄）の変動が停止され、その停止時に有効ライン上に揃った識別情報が特定の識別情報であることを条件に遊技価値が付与されるよう構成した回胴式遊技機」が挙げられる。

【０２２４】

Ｅ．上記各手段における遊技機は、スロットマシンとパチンコ機とを融合した形式の遊

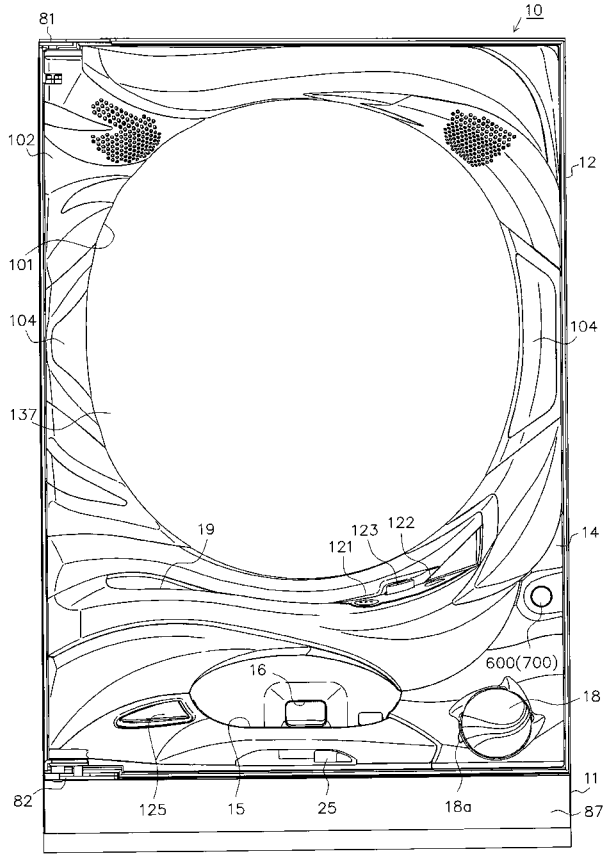
技機（特に遊技球を遊技媒体として使用するスロットマシン仕様の遊技機）であること。より詳しい態様例としては、「複数の識別情報（図柄）からなる識別情報列（図柄列；具体的には図柄の付されたリール、ベルト等の回転体）を変動表示（具体的にはリール等の回転）した後に識別情報列を停止表示する可変表示手段（具体的にはリールユニット等の回転体ユニット）を備え、始動用操作手段（具体的にはスタートレバー）の操作に起因して識別情報（図柄）の変動が開始され、停止用操作手段（具体的にはストップボタン）の操作に起因して識別情報（図柄）の変動が停止され、その停止時に有効ライン上に揃った識別情報が特定の識別情報であることを条件に遊技価値が付与されるよう構成し、さらに球受皿（上皿等）を設けてその球受皿から遊技球を取り込む取込手段と、前記球受皿に遊技球の払出しを行う払出手段とを備え、前記取込手段により遊技球が取り込まれることにより遊技の開始条件が成立するように構成した遊技機」が挙げられる。

【符号の説明】

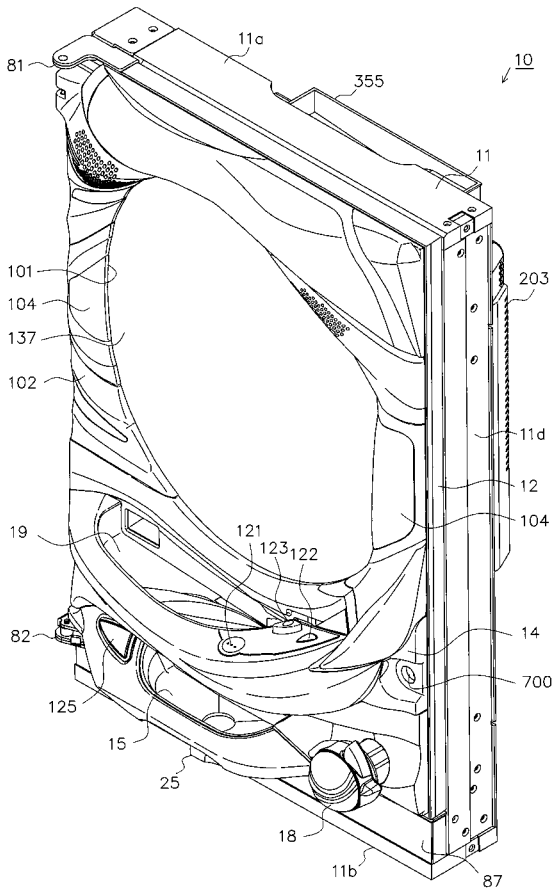
【０２２５】

１０…パチンコ機、３２…可変入賞装置、３３…始動入賞ユニット、３３ａ…上入賞口、３３ｂ…下入賞口、４２…装飾図柄表示装置、４３Ｌ，４３Ｒ…特別表示装置、４７…センターフレーム、２２４ａ，２２４ｂ…始動入賞スイッチ、２６１…主制御装置、２６２…サブ制御装置、４０１…電飾ユニット、４０５…絶縁層、４０６…配線層、４０８…スルーホール、４１１…中央電飾基板、４１３…３色ＬＥＤ、４２１…サイド電飾基板、４２３…ＬＥＤ、４２７…閉塞材、４３１…電飾ユニット、４３２…前電飾基板、４３３…中電飾基板、４３４…後電飾基板、４４１…可動役物、４４２…中板中央開口部、４５２…装飾開口部、４５７…導電路、４６１…電飾ユニット、４６２…電飾基板、４６３…装飾役物、４６４…メッキ部、４６５…３色ＬＥＤ、４７１…沿線部、４７２…連結部。

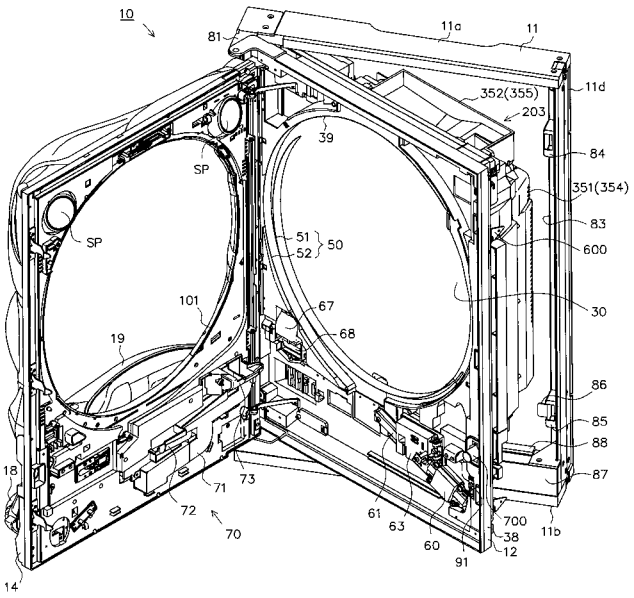
【図１】



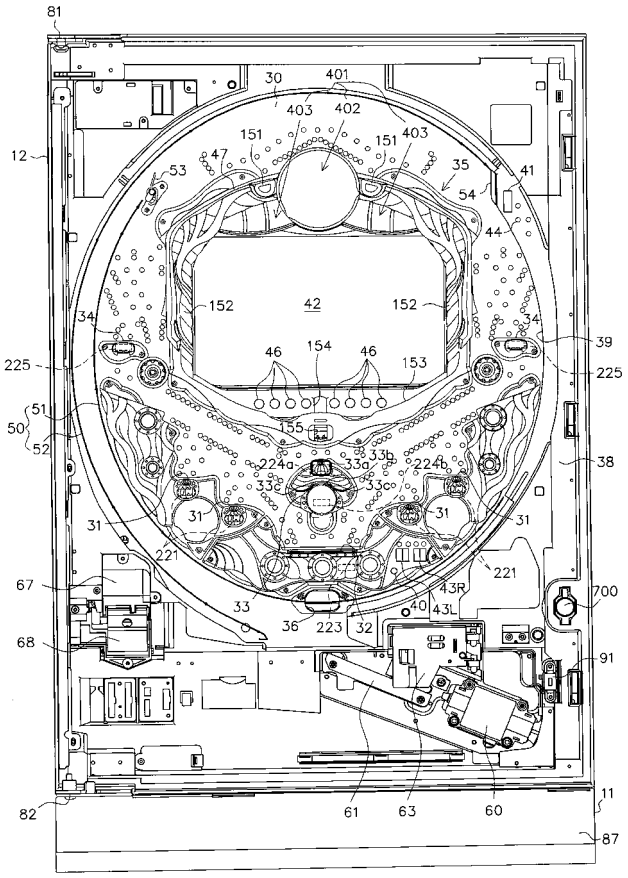
【図２】



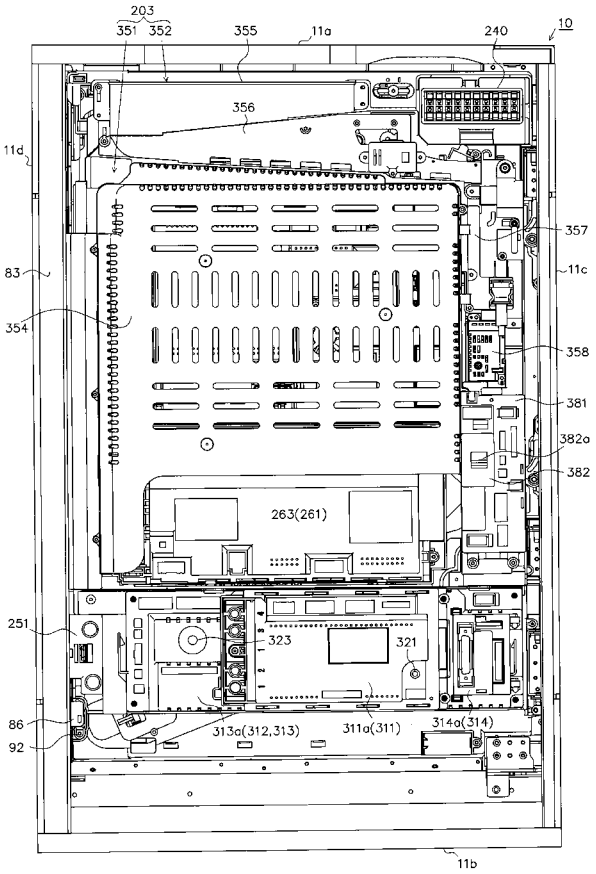
【図３】


10
81
11a
11
11d
352(355)
203
39
84
SP
351(354)
83
51
52
50
600
30
67
68
101
19
86
85
88
87
18
71
73
72
70
61
63
60
91
700
38
12
11b
14

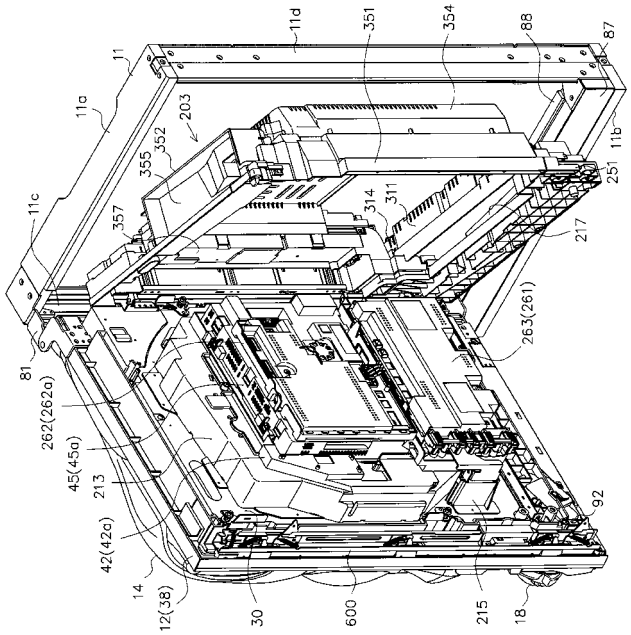
【図４】


81
30
401
403
402
151
403
12
47
53
35
41
54
44
152
42
152
34
39
46
154
46
153
225
225
51
50
52
155
224a
33a
33b
224b
38
33c
31
31
31
31
221
221
67
43R
700
33
40
43L
36
223
32
68
91
82
61
63
60
11
87

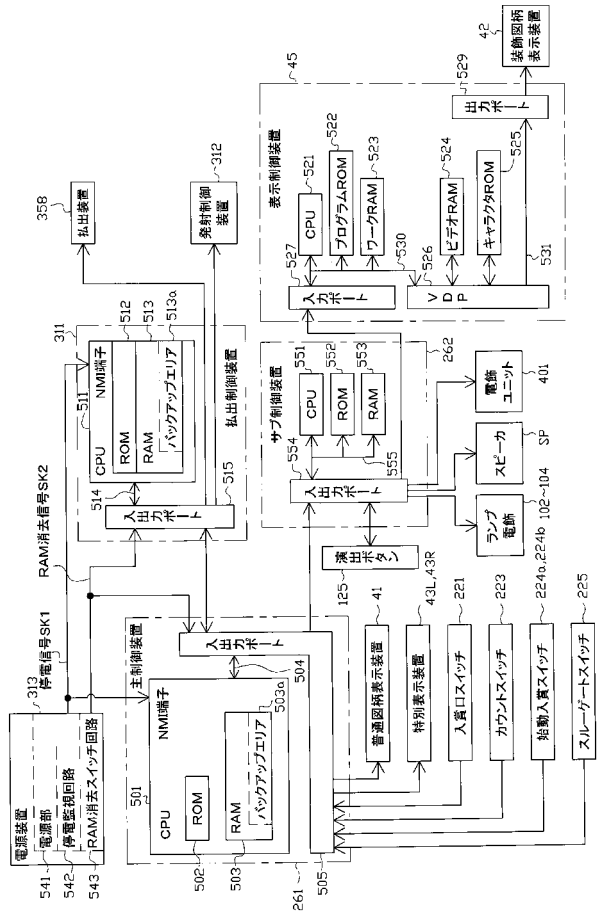
【図５】


203
351
352
355
11a
240
10
356
11d
357
83
11c
354
358
381
382a
382
263(261)
251
323
321
86
313a(312,313)
311a(311)
314a(314)
92
11b

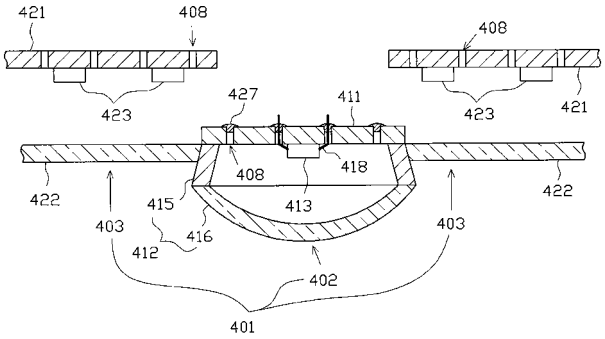
【図６】


11d
351
354
88
87
11
11a
203
352
355
251
11b
11c
357
314
311
217
263(261)
81
262(262a)
45(45a)
213
42(42a)
92
14
12(38)
30
600
215
18

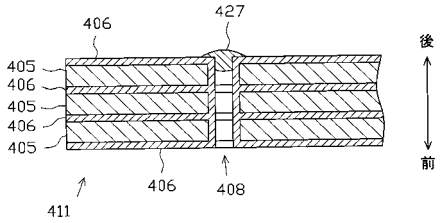
【図７】



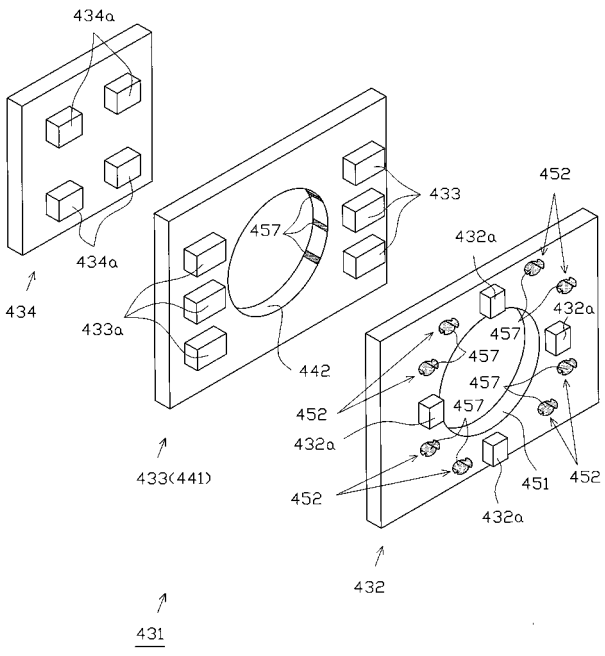
【図８】



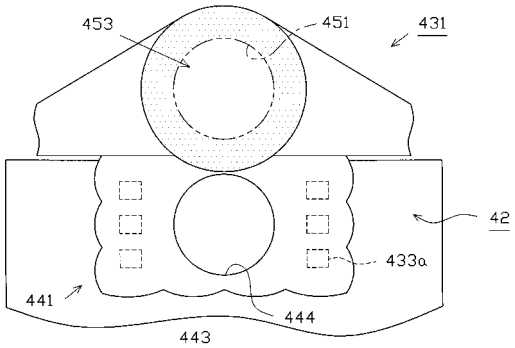
【図９】



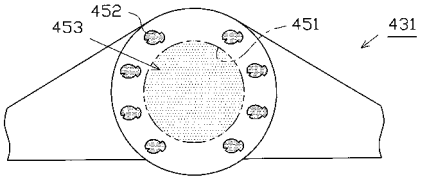
【図１０】



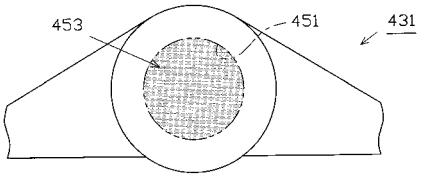
【図１１】



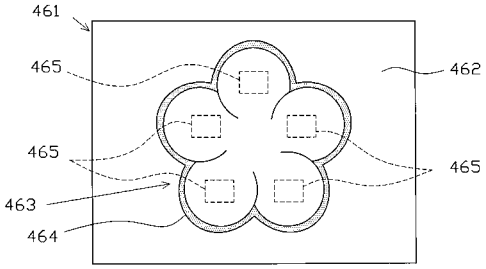
【図１２】



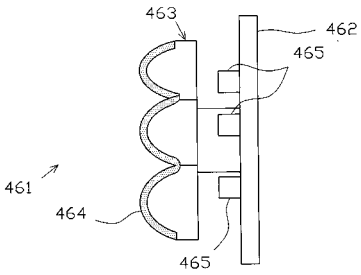
【図１３】



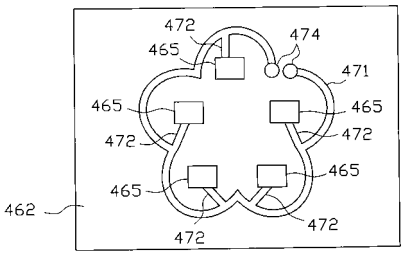
【図１４】



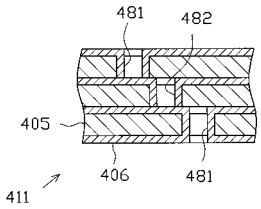
【図１５】



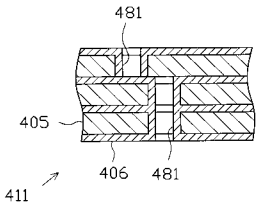
【図１６】



【図１７】



【図１８】



【図１９】

